

5 メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

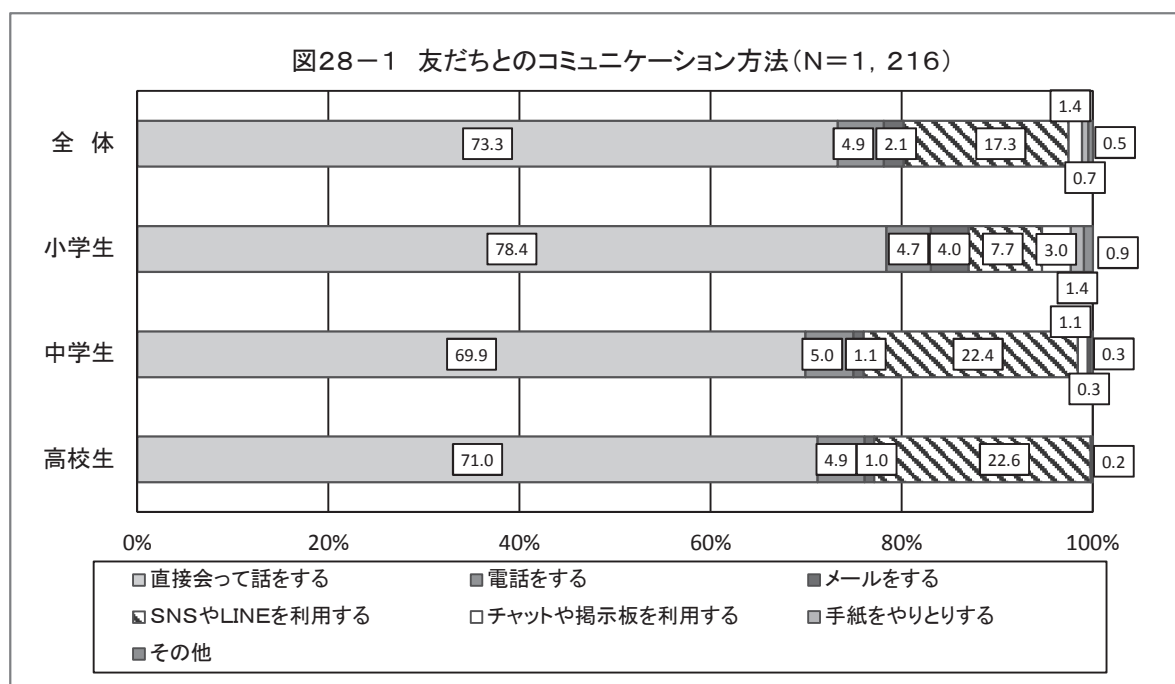
問16	あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報を伝えることなど)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。一つ選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が73.3%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(17.3%)、「電話をする」(4.9%)などとなっている。

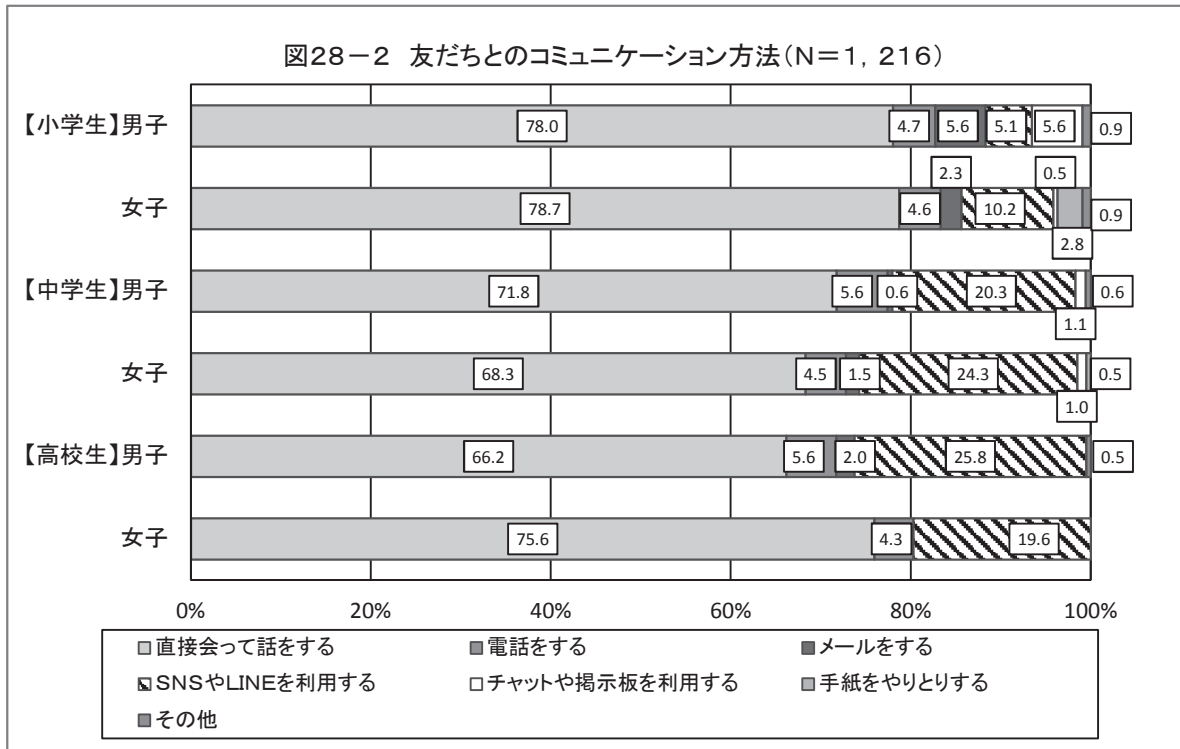
【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が78.4%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(7.7%)、「電話をする」(4.7%)などとなっている。
 中学生では、「直接会って話をする」が69.9%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(22.4%)、「電話をする」(5.0%)などとなっている。
 高校生では、「直接会って話をする」が71.0%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(22.6%)、「電話をする」(4.9%)などとなっている。



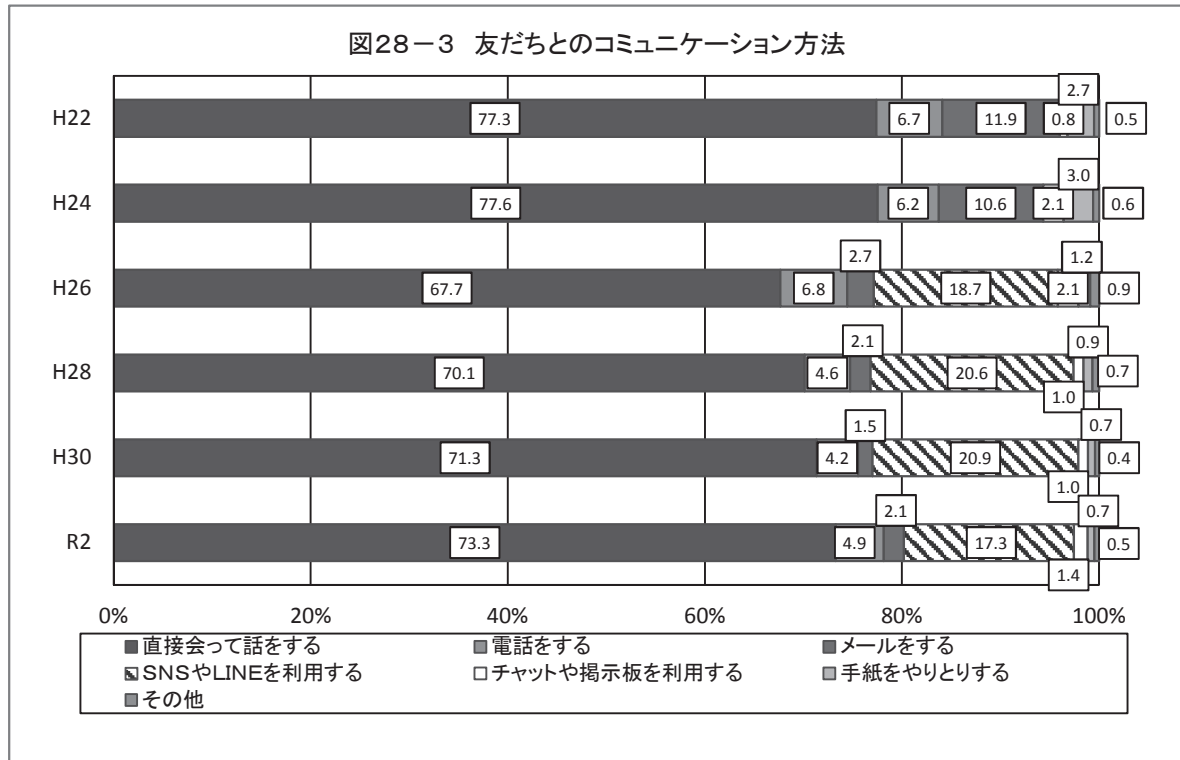
【属性別集計結果】

「SNSやLINEを利用する」を見てみると、高校男子が25.8%で最も高く、以下中学女子(24.3%)、中学男子(20.3%)となっている。



【経年変化】

平成26年度以降の調査と比較すると、「直接会って話をする」が増加している。「SNSやLINEをする」は平成30年度に比べると減少した。



< インターネットにつながる機器の所有状況 >

問17 インターネットにつながる機器(携帯電話・スマートフォン・パソコン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤー・タブレット端末のこと。以下同じ。)についてお聞きします。

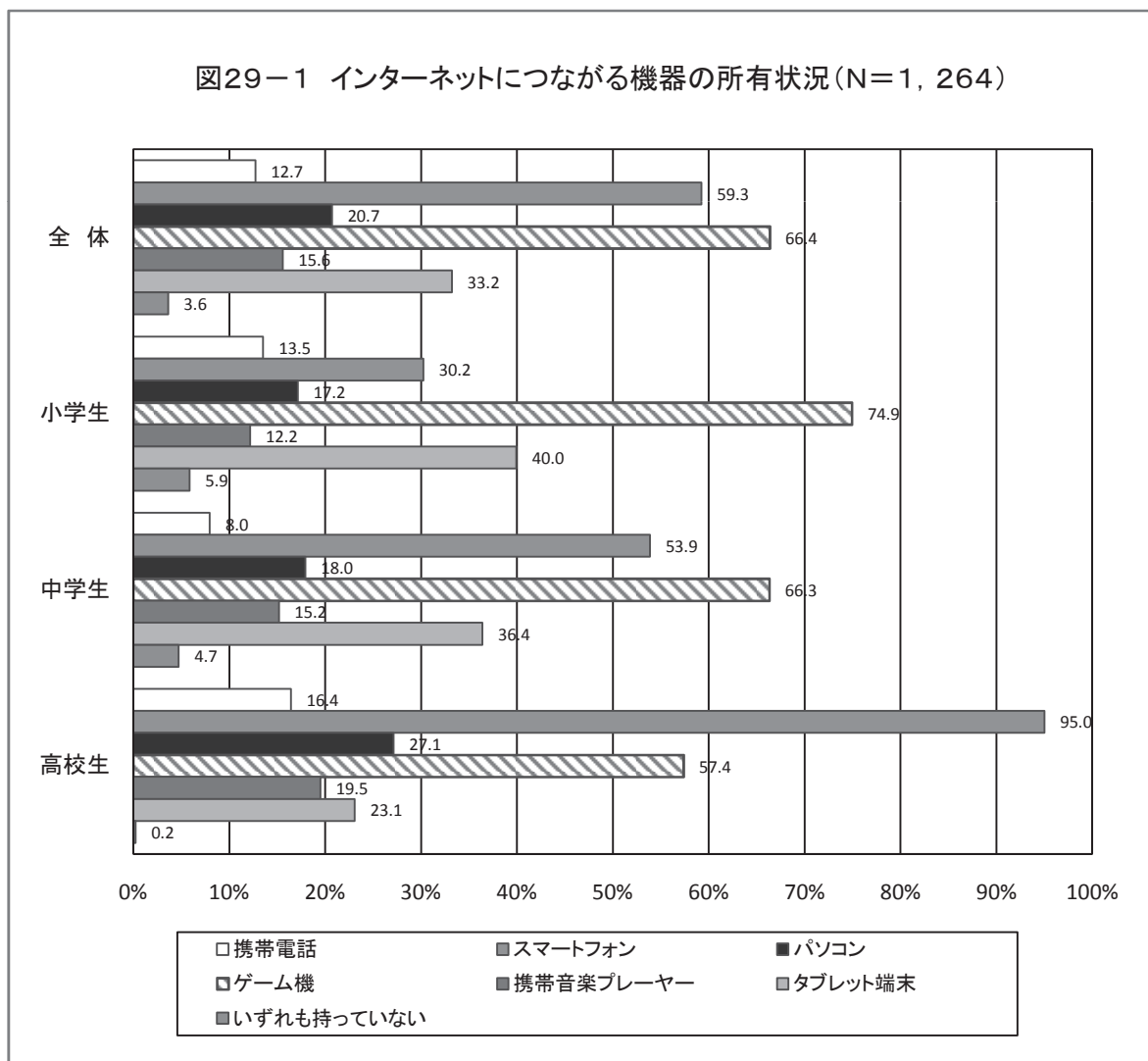
問17(1) あなたが現在、自分専用で持っているもの、又は、自分が自由に使えるものがありますか。あてはまるものを、1～6の中から、いくつでも選んでください。持っていない場合は、7を選んでください。

【全体集計結果】

現在、自分専用で持っているものを尋ねたところ、「ゲーム機」が66.4%、「スマートフォン」が59.3%、「タブレット端末」が33.2%となっている。

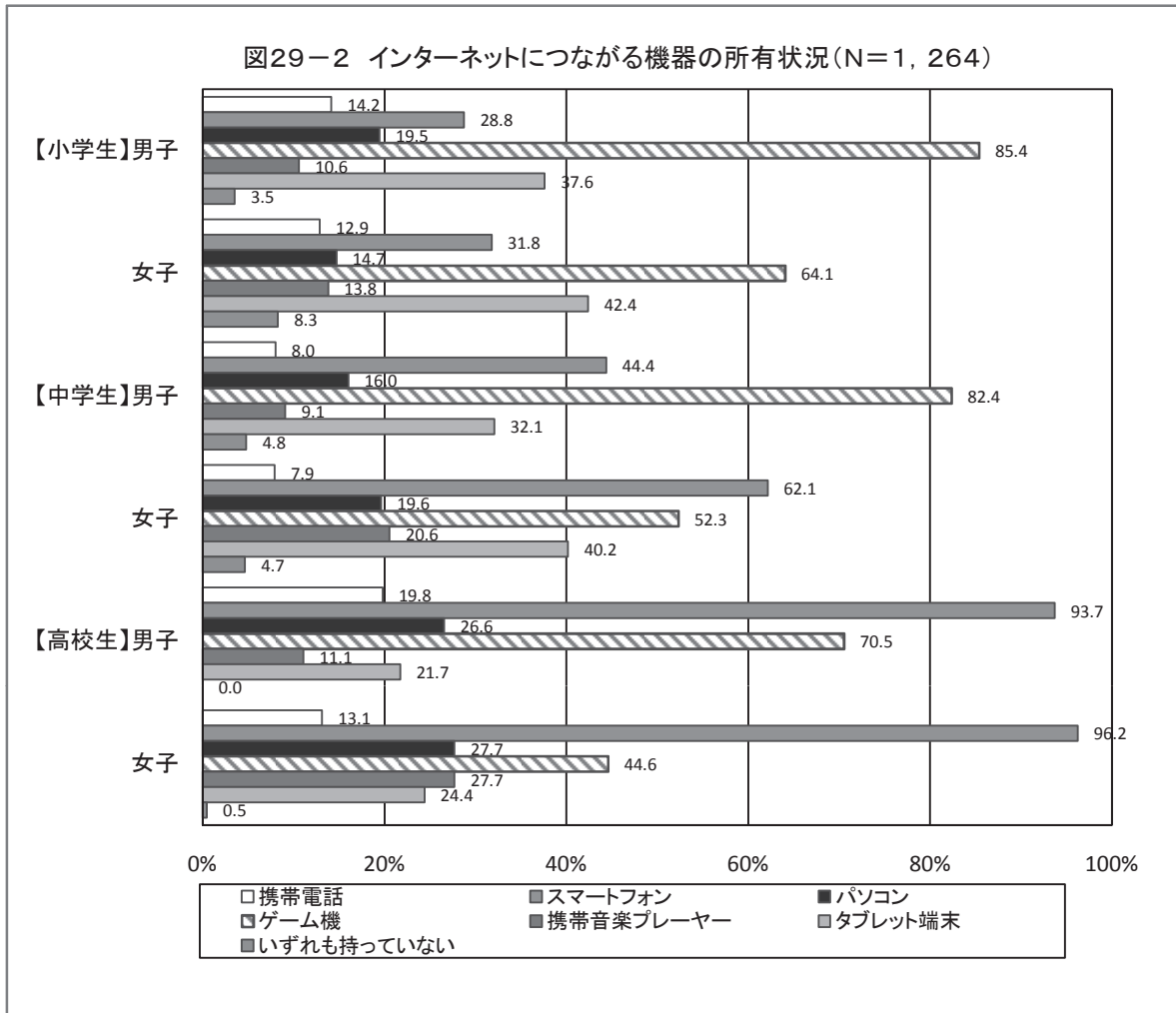
【学校種別集計結果】

所有率が最も高いインターネットにつながる機器は、小学生では「ゲーム機」(74.9%)、中学生では「ゲーム機」(66.3%)、高校生では「スマートフォン」(95.0%)となっている。



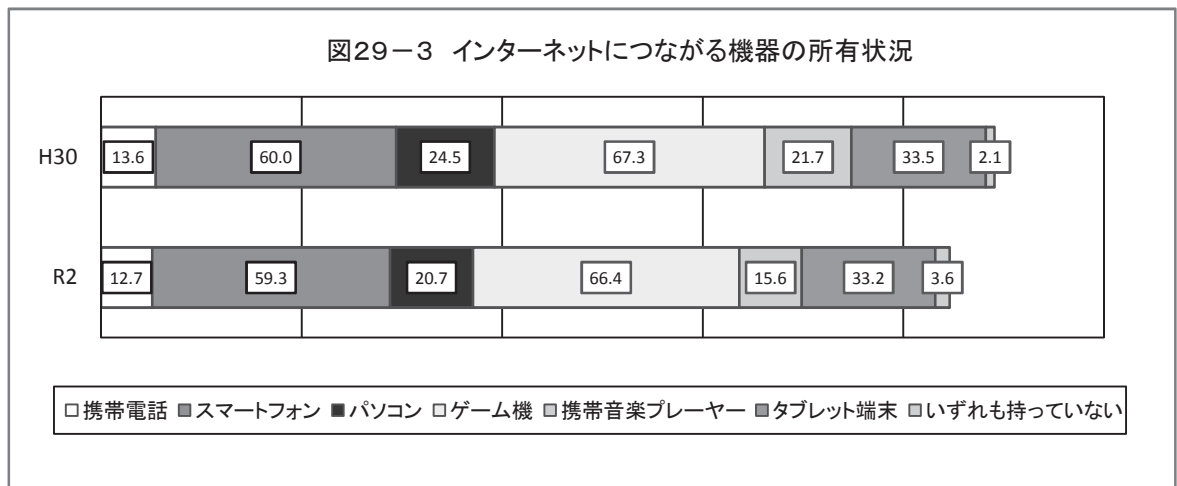
【属性別集計結果】

ゲーム機器の所有状況は、小学生、中学生、高校生のいずれも男子のほうが女子よりも高い。スマートフォンの所有状況は、高校女子が高校男子よりも高い。



【経年変化】

機器別に所有する割合を平成30年度と比較すると、携帯音楽プレーヤー及びパソコンが減少している。



< インターネットにつながる機器の使用目的 >

問17(2)	(1)で1～6のいずれかを選んだ人にお聞きします。あなたは、どのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
--------	---

【全体集計結果】

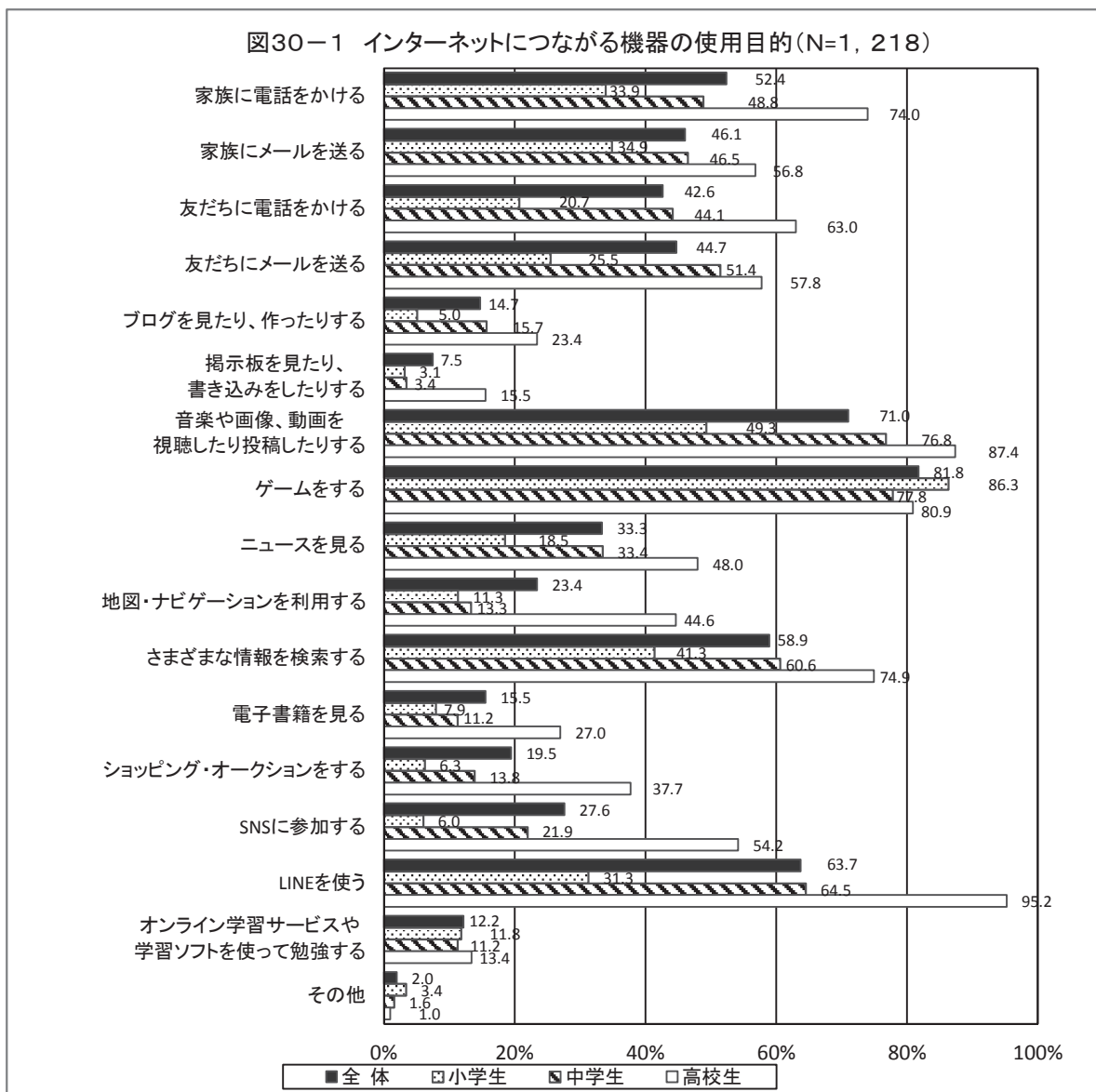
インターネットにつながる機器の使用目的を尋ねたところ、「ゲームをする」が81.8%で最も高く、以下、「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(71.0%)、「LINEを使う」(63.7%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「ゲームをする」(86.3%)、「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(49.3%)、「さまざまな情報を検索する」(41.3%)が上位を占めている。

中学生では、「ゲームをする」(77.8%)、「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(76.8%)、「LINEを使う」(64.5%)が上位を占めている。

高校生では、「LINEを使う」(95.2%)、「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(87.4%)、「ゲームをする」(80.9%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

「ゲームをする」(89.9%)

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(47.2%)

「さまざまな情報を検索する」(34.4%)

〈小学女子〉

「ゲームをする」(82.3%)

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(51.5%)

「さまざまな情報を検索する」(49.0%)

〈中学男子〉

「ゲームをする」(90.5%)

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(69.3%)

「さまざまな情報を検索する」(58.7%)

〈中学女子〉

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(83.3%)

「LINEを使う」(73.5%)

「ゲームをする」(66.7%)

〈高校男子〉

「LINEを使う」(92.3%)

「ゲームをする」(91.3%)

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(79.2%)

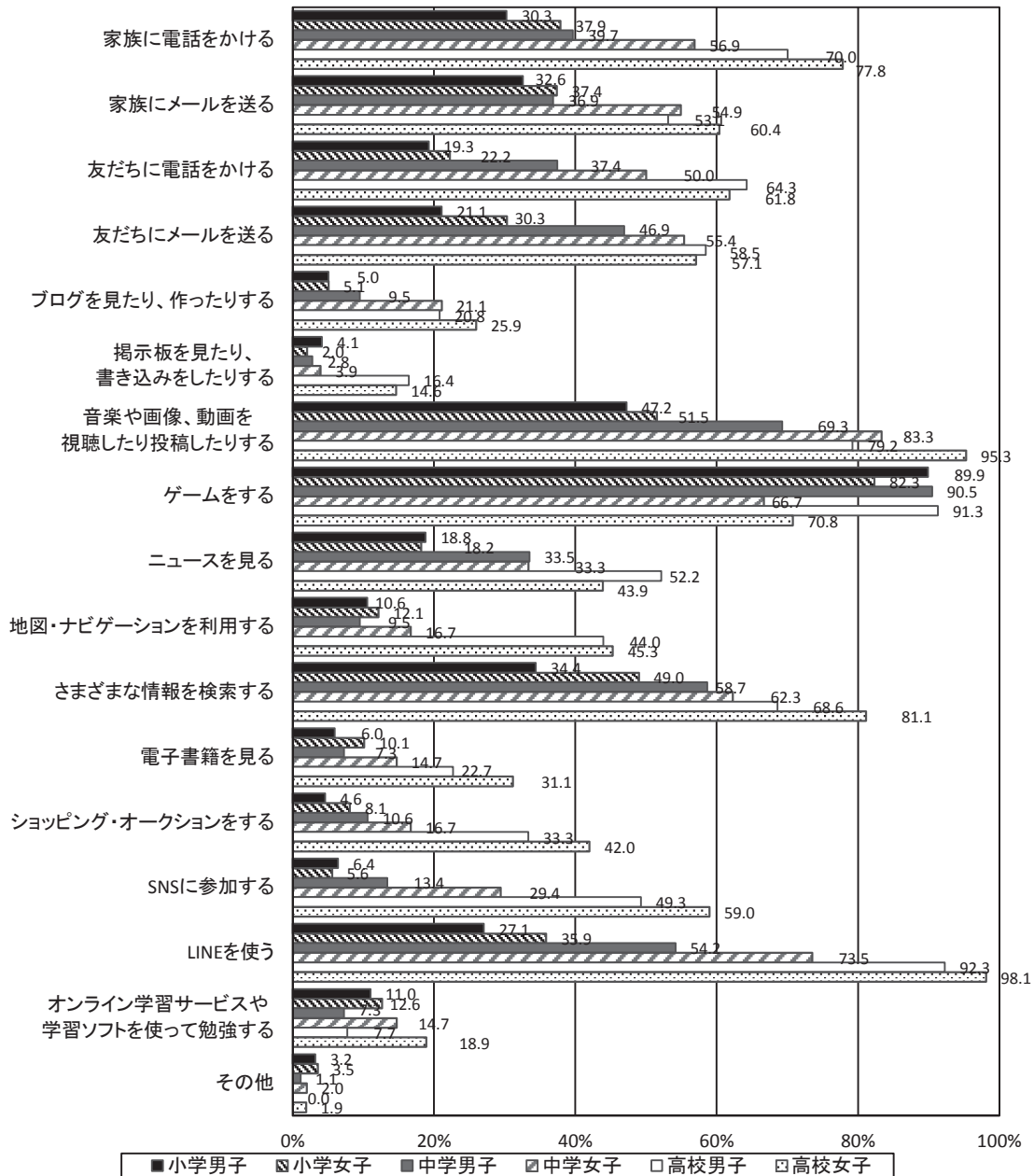
〈高校女子〉

「LINEを使う」(98.1%)

「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」(95.3%)

「さまざまな情報を検索する」(81.1%)

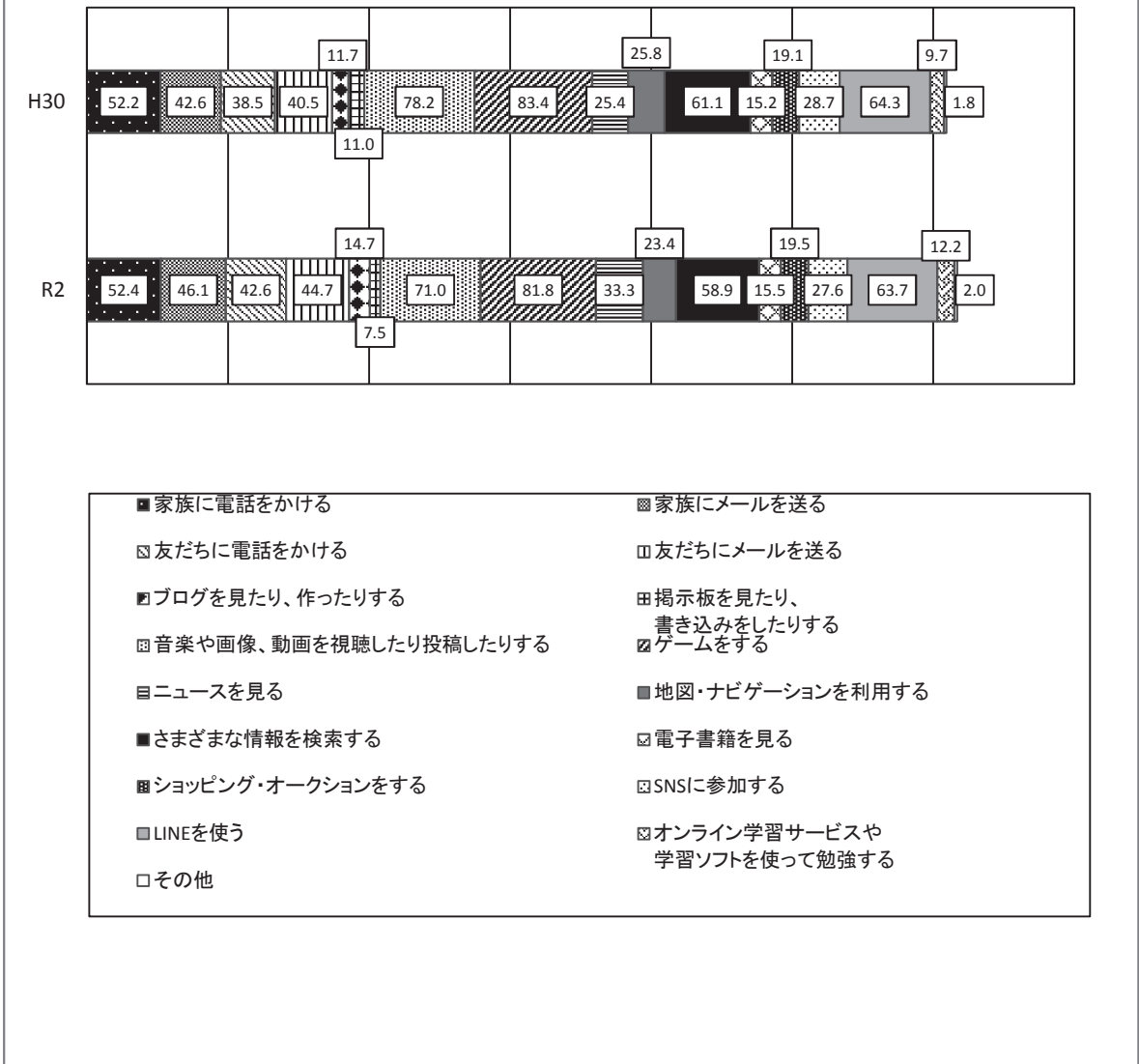
図30-2 インターネットにつながる機器の使用目的(N=1,218)



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「ニュースを見る」が7.9ポイント増加、「音楽や画像、動画を視聴したり投稿したりする」が7.2ポイント減少している。

図30-3 インターネットにつながる機器の使用目的



< SNS等の利用目的 >

問17(3) (2)で「14 SNSに参加する」「15 LINEを使う」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

SNSの使用目的を尋ねたところ「友だちと連絡をとる」が66.7%で最も高く、以下、「アプリやゲームをする」(30.1%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(16.5%)などとなっている。

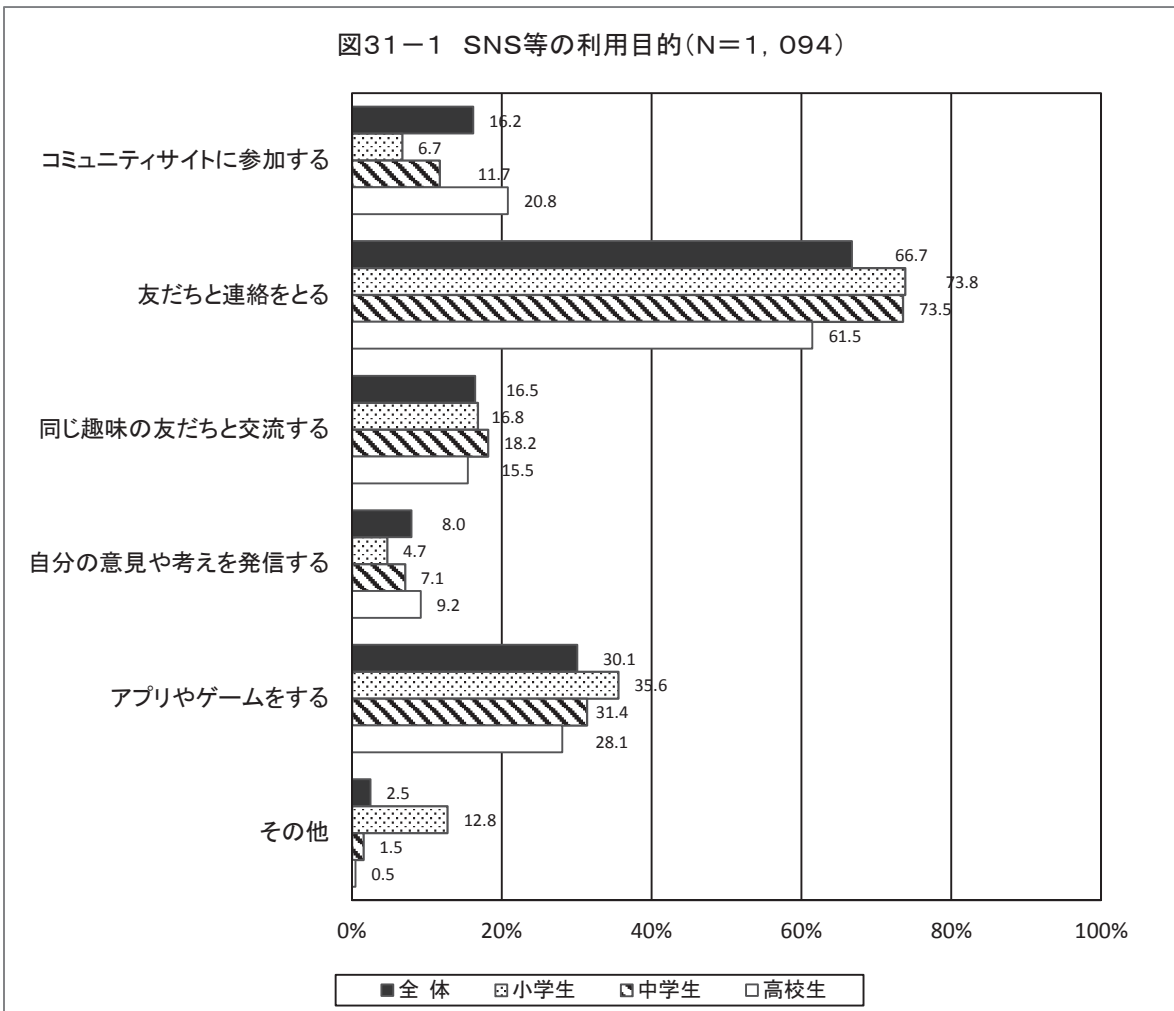
【学校種別集計結果】

小学生では、「友だちと連絡をとる」(73.8%)「アプリやゲームをする」(35.6%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(16.8%)となっている。

中学生では、「友だちと連絡をとる」(73.5%)、「アプリやゲームをする」(31.4%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(18.2%)となっている。

高校生では、「友だちと連絡をとる」(61.5%)、「アプリやゲームをする」(28.1%)、「コミュニティサイトに参加する」(20.8%)となっている。

図31-1 SNS等の利用目的(N=1,094)



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(66.7%)
- 「アプリやゲームをする」(39.1%)
- 「同じ趣味の友だちと交流する」(18.8%)

〈小学女子〉

- 「友だちと連絡をとる」(80.0%)
- 「アプリやゲームをする」(32.5%)
- 「同じ趣味の友だちと交流する」(15.0%)

〈中学男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(77.8%)
- 「アプリやゲームをする」(39.3%)
- 「同じ趣味の友だちと交流する」(16.2%)

〈中学女子〉

- 「友だちと連絡をとる」(71.2%)
- 「アプリやゲームをする」(26.9%)
- 「同じ趣味の友だちと交流する」(19.2%)

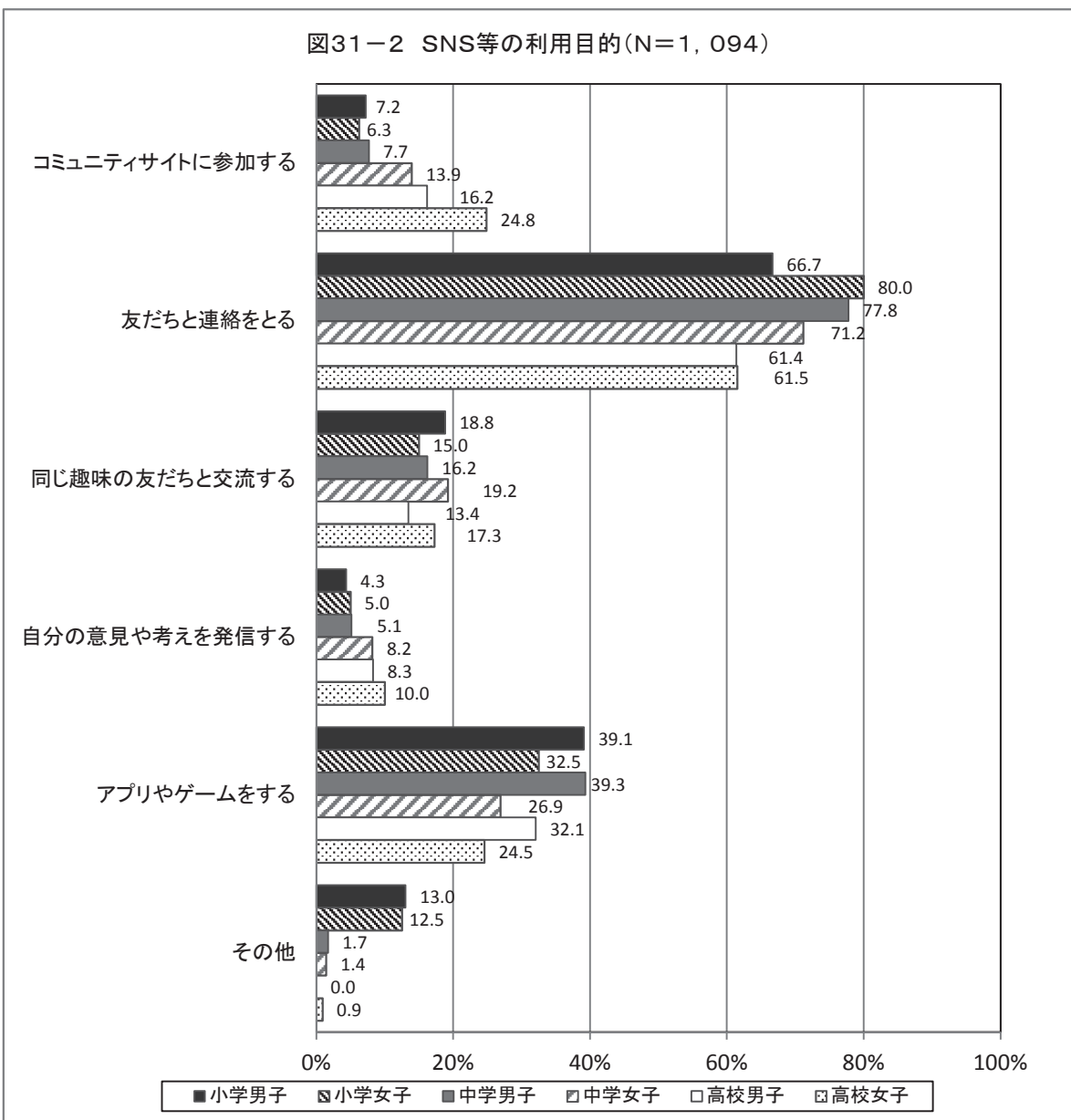
〈高校男子〉

- 「友だちと連絡をとる」(61.4%)
- 「アプリやゲームをする」(32.1%)
- 「コミュニティサイトに参加する」(16.2%)

〈高校女子〉

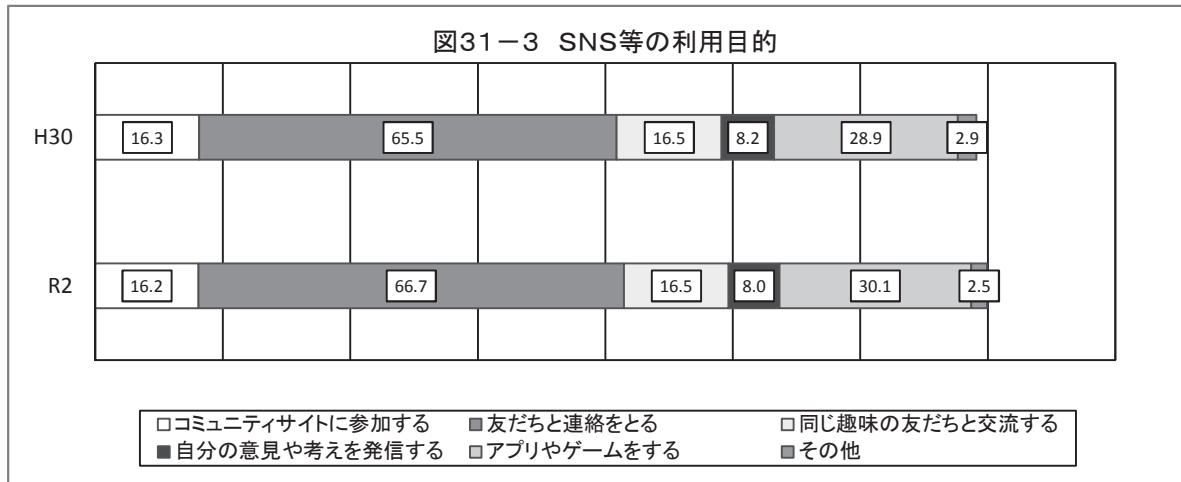
- 「友だちと連絡をとる」(61.5%)
- 「コミュニティサイトに参加する」(24.8%)
- 「アプリやゲームをする」(24.5%)

図31-2 SNS等の利用目的(N=1,094)



【経年変化】

平成30年度と同様、「友だちと連絡をとる」が65%超となっている。



< インターネットにつながる機器の使用時間 >

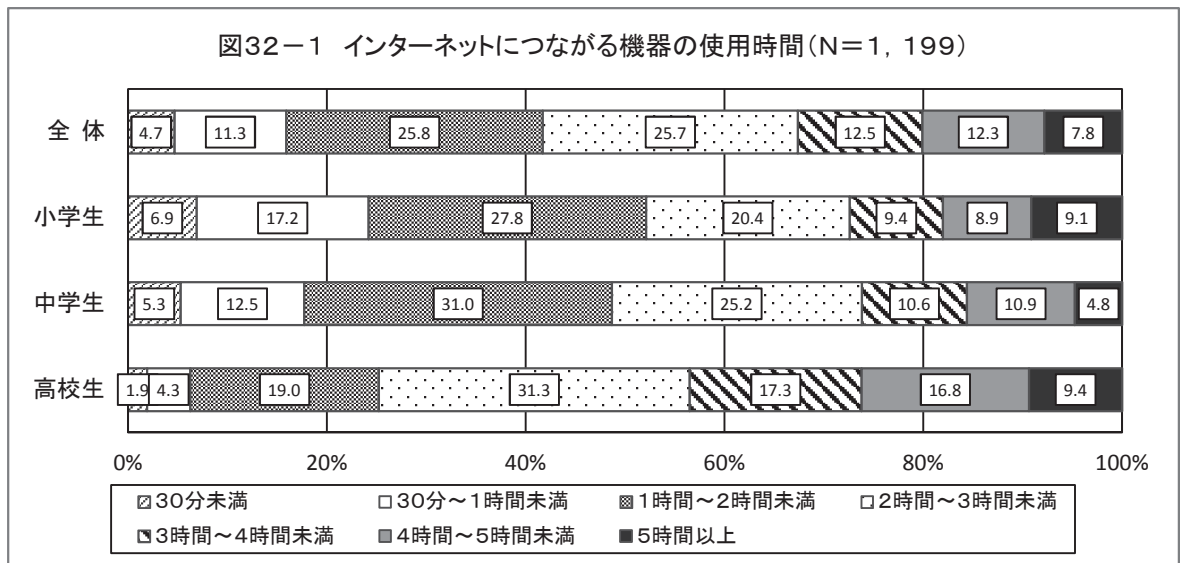
問17(4) (1)で1～6のいずれかを選んだ人にお聞きします。1日にどのくらい使用していますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器の使用時間を尋ねたところ、「1時間～2時間未満」が25.8%で最も高く、以下「2時間～3時間未満」(25.7%)、「3時間～4時間未満」(12.5%)などとなっている。

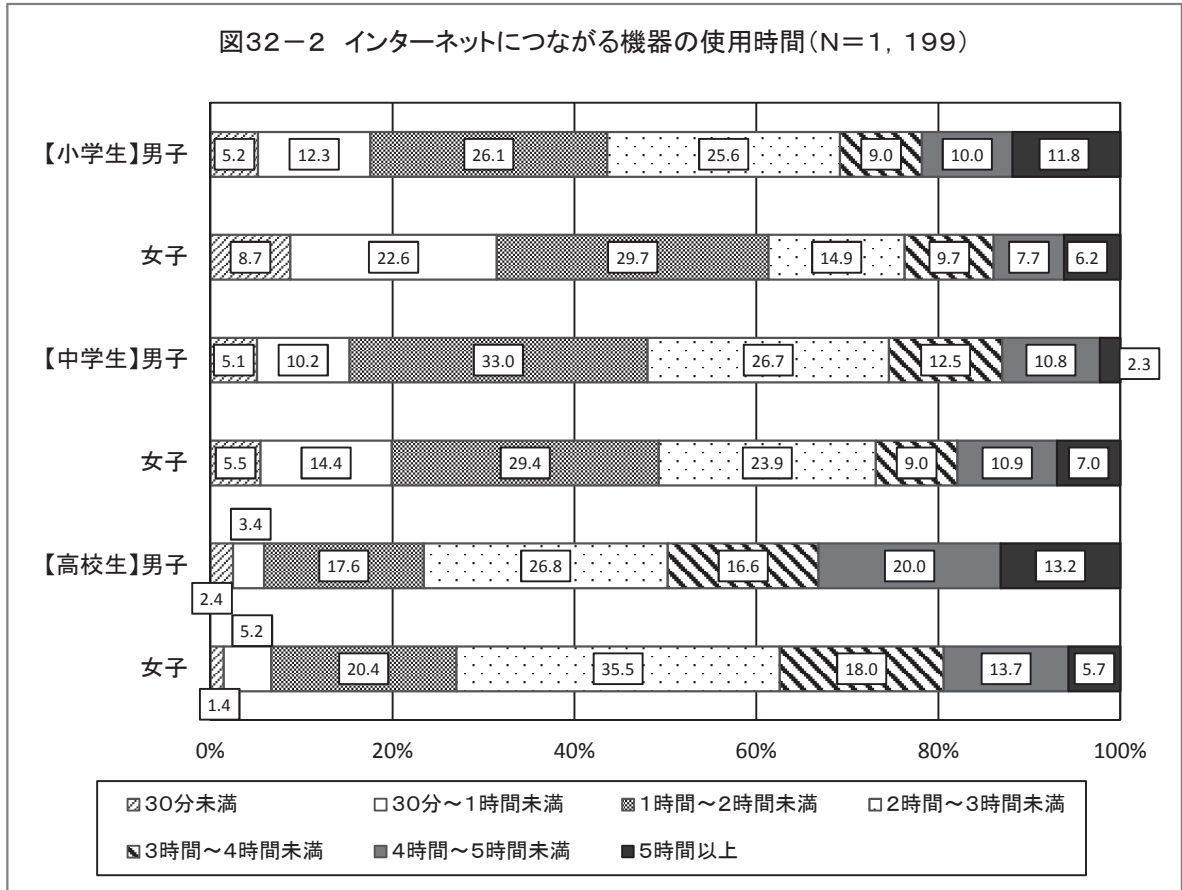
【学校種別集計結果】

使用時間について見てみると、小学生、中学生は「1時間～2時間未満」が最も高く(小学生: 27.8%、中学生: 31.0%)、高校生は「2時間～3時間未満」が31.3%で最も高い。



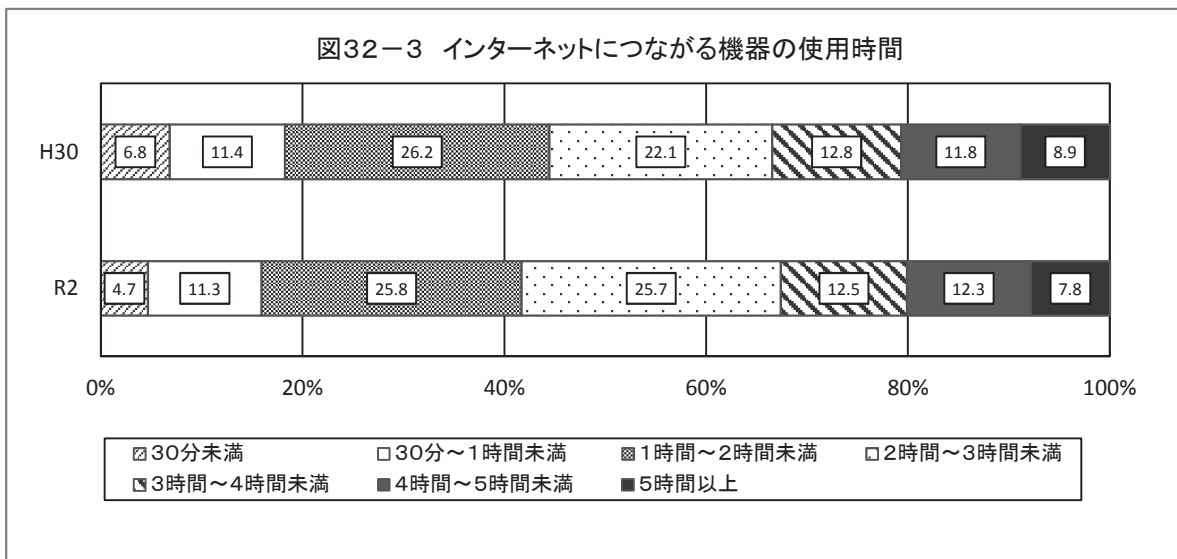
【属性別集計結果】

インターネットにつながる機器の使用時間を見てみると、小学生は「1時間～2時間未満」(男子26.1%、女子29.7%)が男女ともに最も高い。中学生は「1時間～2時間未満」(男子33.0%、女子29.4%)が男女ともに最も高い。高校生は「2時間～3時間未満」(男子26.8%、女子35.5%)が男女ともに最も高い。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「30分未満」が2.1ポイント減少し、「2時間～3時間未満」が3.6ポイント増加している。



< 学校が休校中の機器の使用時間 >

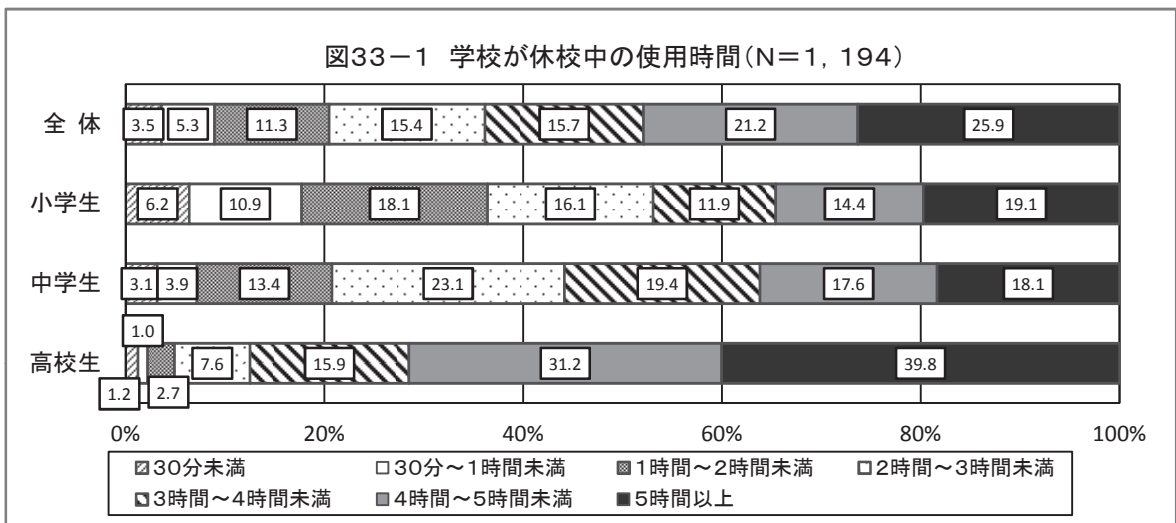
問17(5) (4)を回答した人にお聞きます。コロナ(新型コロナウイルス感染症)で学校が休校中、1日にどのくらい使用していましたか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

コロナで学校が休校中にインターネットにつながる機器の使用時間を尋ねたところ、「5時間以上」が25.9%で最も高く、以下「4時間～5時間未満」(21.2%)、「3時間～4時間未満」(15.7%)などとなっている。

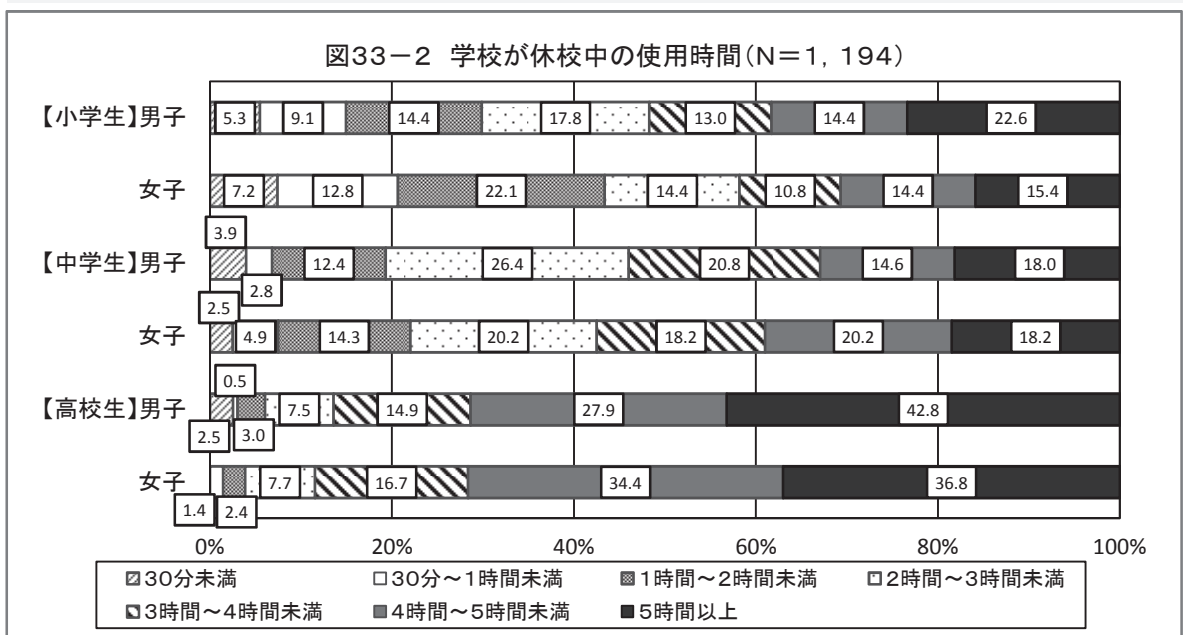
【学校種別集計結果】

インターネットにつながる機器の使用時間について見てみると、小学生は「5時間以上」が19.1%で最も高く、中学生は「2時間～3時間未満」が23.1%、高校生は「5時間以上」が39.8%で最も高い。



【属性別集計結果】

コロナで学校が休校中におけるインターネットにつながる機器の使用時間を見てみると、小学生では、男子は「5時間以上」(22.6%)、女子は「1時間～2時間未満」(22.1%)が最も高い。中学生は「2時間～3時間未満」(男子26.4%、女子20.2%)が最も高い。高校生は「5時間以上」(男子42.8%、女子36.8%)が最も高い。



< フィルタリング機能の認知状況 >

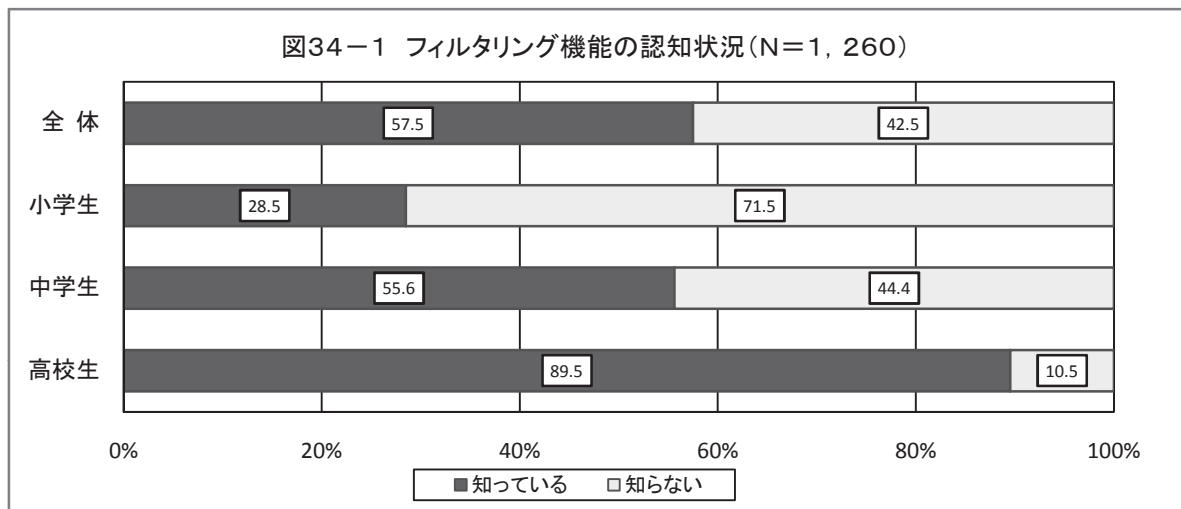
問17(6)	あなたは、フィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。一つ選んでください。
--------	--

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が57.5%で「知らない」(42.5%)を15ポイント上回っている。

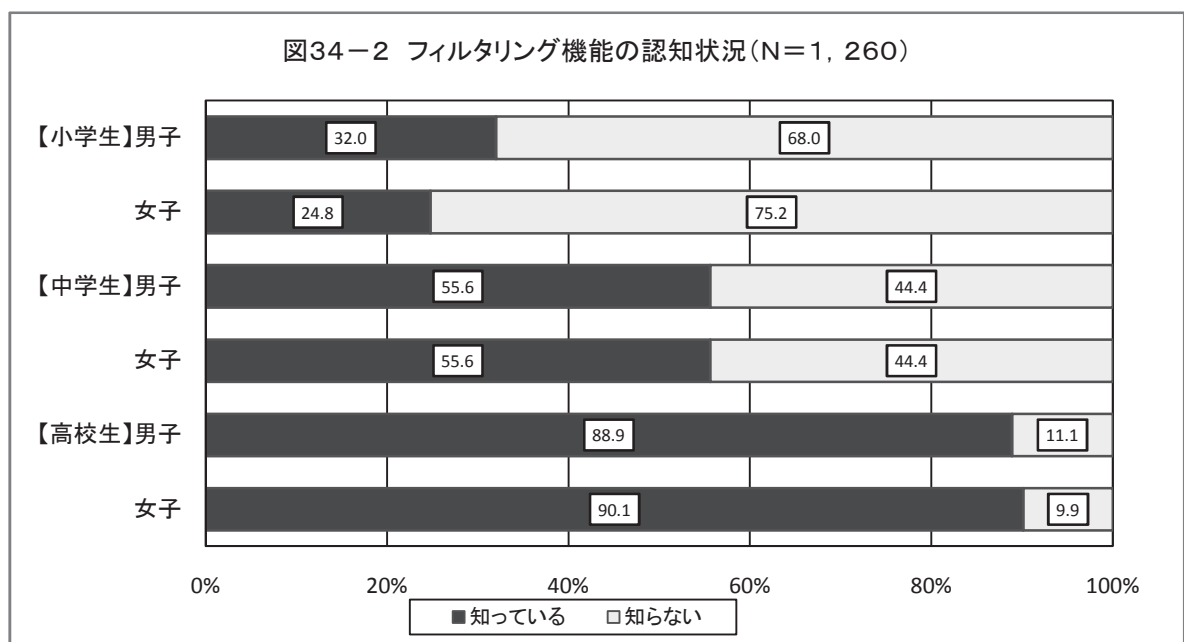
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が89.5%で最も高く、以下、中学生(55.6%)、小学生(28.5%)となっている。



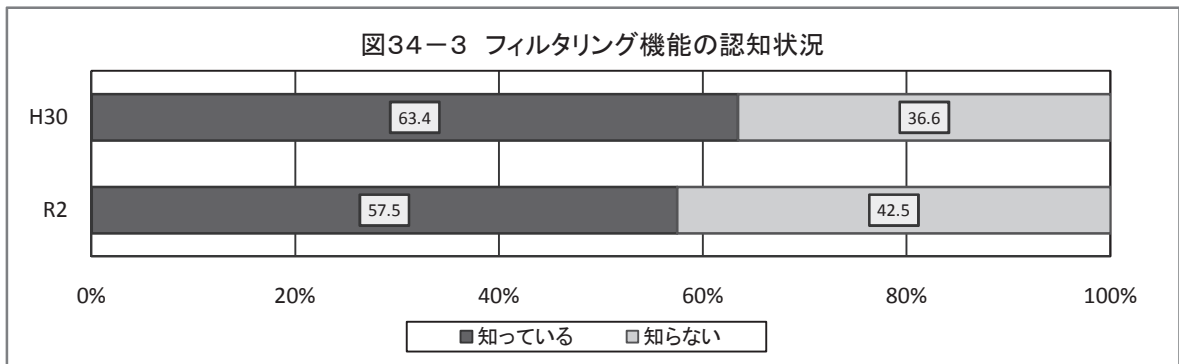
【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校女子が90.1%で最も高く、以下、高校男子(88.9%)、中学男子及び中学女子(55.6%)となっている。また、高校生は女子のほうが男子よりも高いが、小学生は男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「知っている」が5.9ポイント減少している。



< フィルタリング機能の利用状況 >

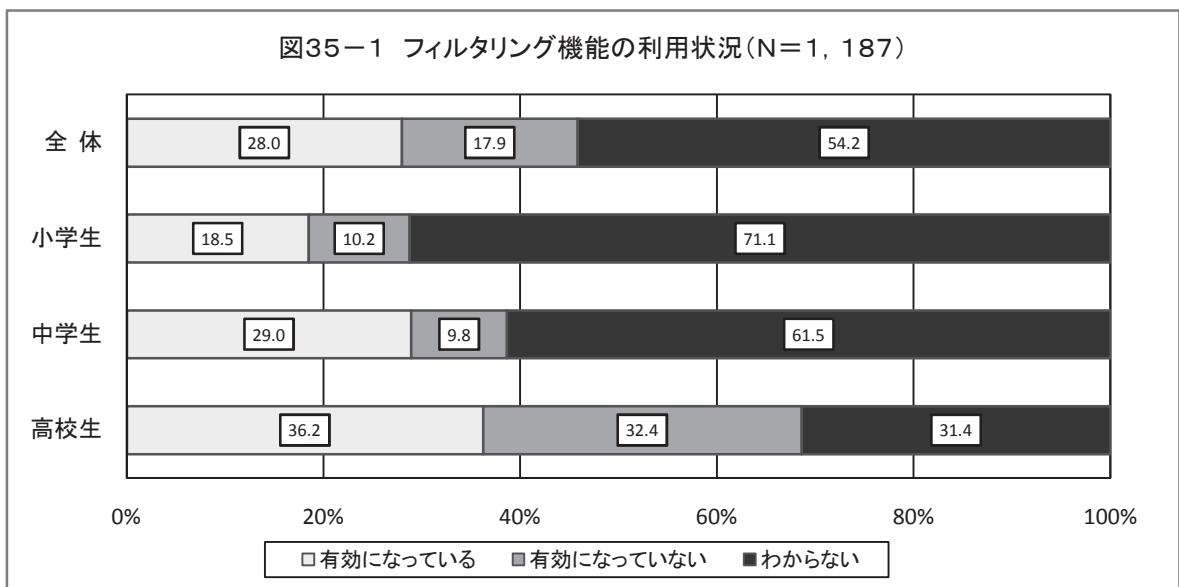
問17(7) (1)で1~6のいずれかを選んだ人にお聞きします。フィルタリング機能は有効になっていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットのつながる機器のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が54.2%で最も高く、以下「有効になっている」(28.0%)、「有効になっていない」(17.9%)となっている。

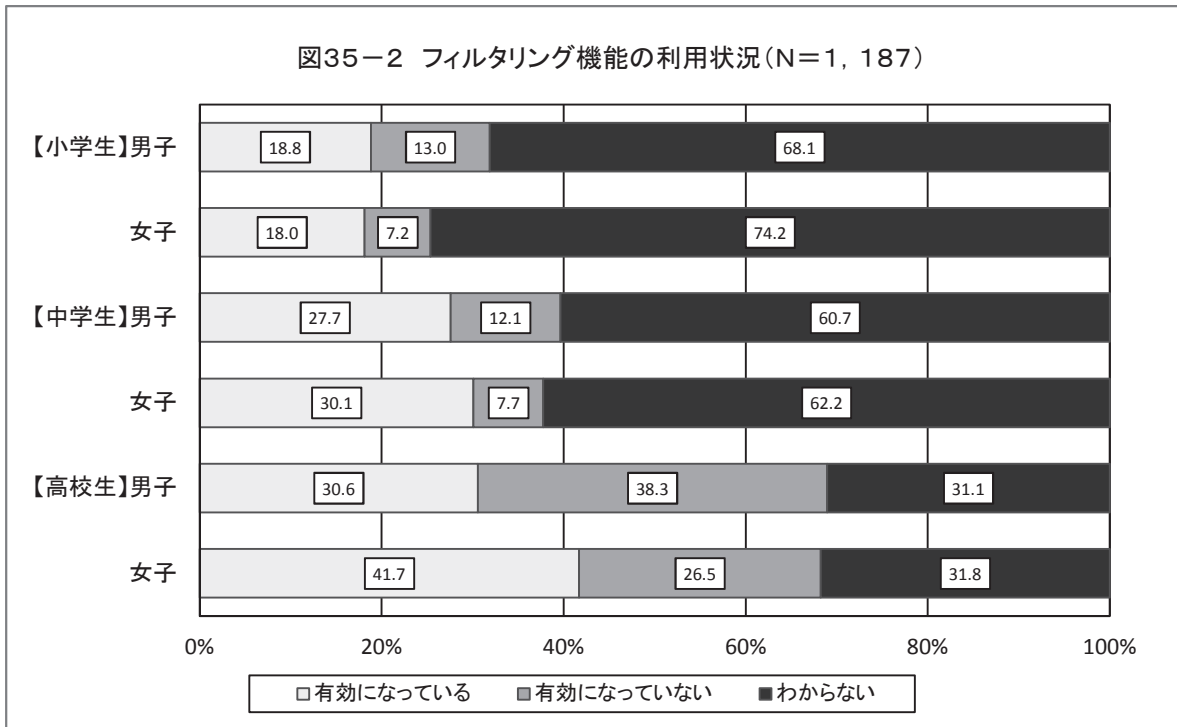
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が36.2%で最も高く、以下、中学生(29.0%)、小学生(18.5%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が32.4%で最も高く、以下、小学生(10.2%)、中学生(9.8%)となっている。また、小学生、中学生については、半数以上が「わからない」(小学生71.1%、中学生61.5%)となっている。



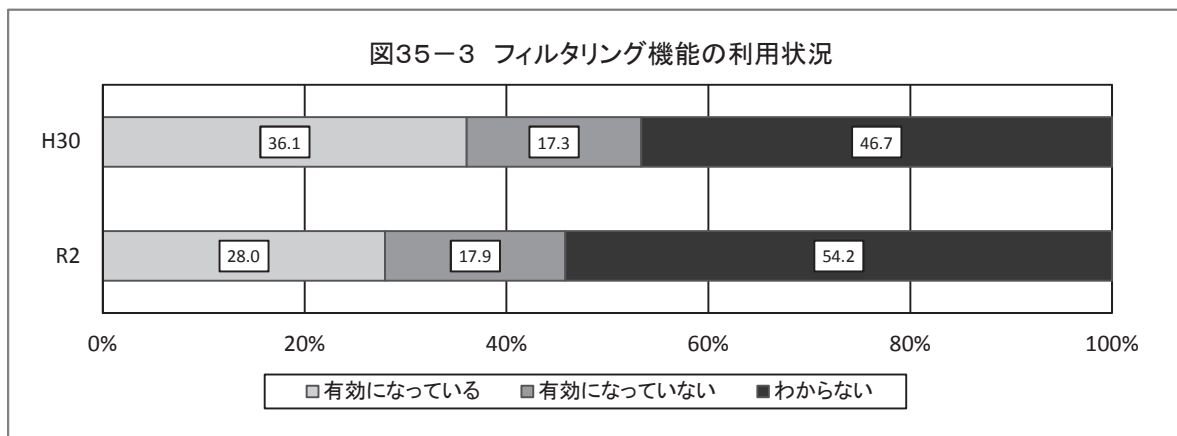
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校女子が41.7%で最も高い。また、中学生と高校生は女子のほうが男子よりも高いが、小学生は男子のほうが女子よりも高い。
 「有効になっていない」を見てみると、高校男子が38.3%で最も高い。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「わからない」が7.5ポイント増加している。



< 年齢制限のあるサイトへのアクセス状況 >

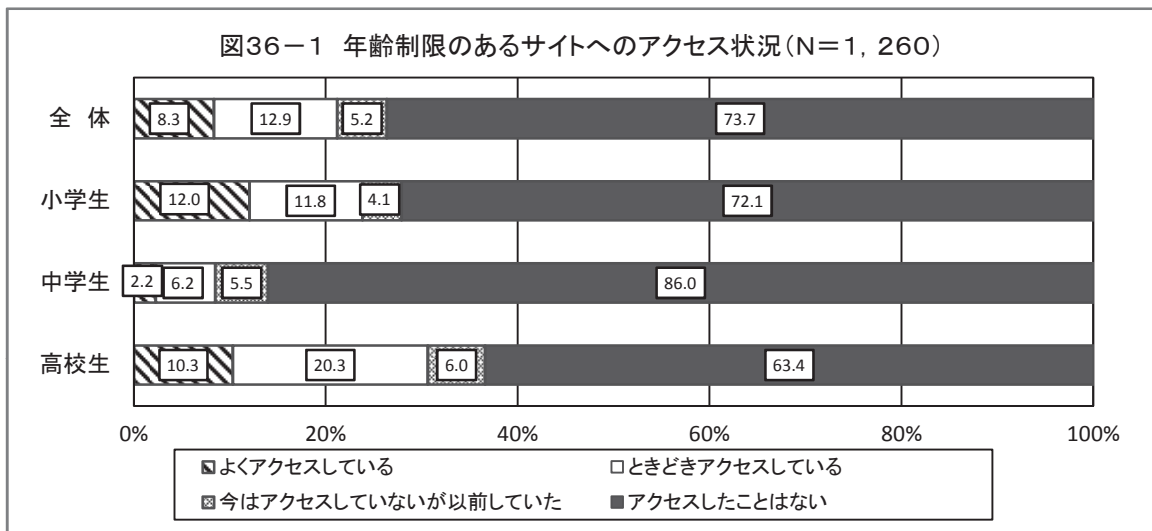
問18(1) あなたは、インターネットにつながる機器を使って、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が73.7%で最も高い。

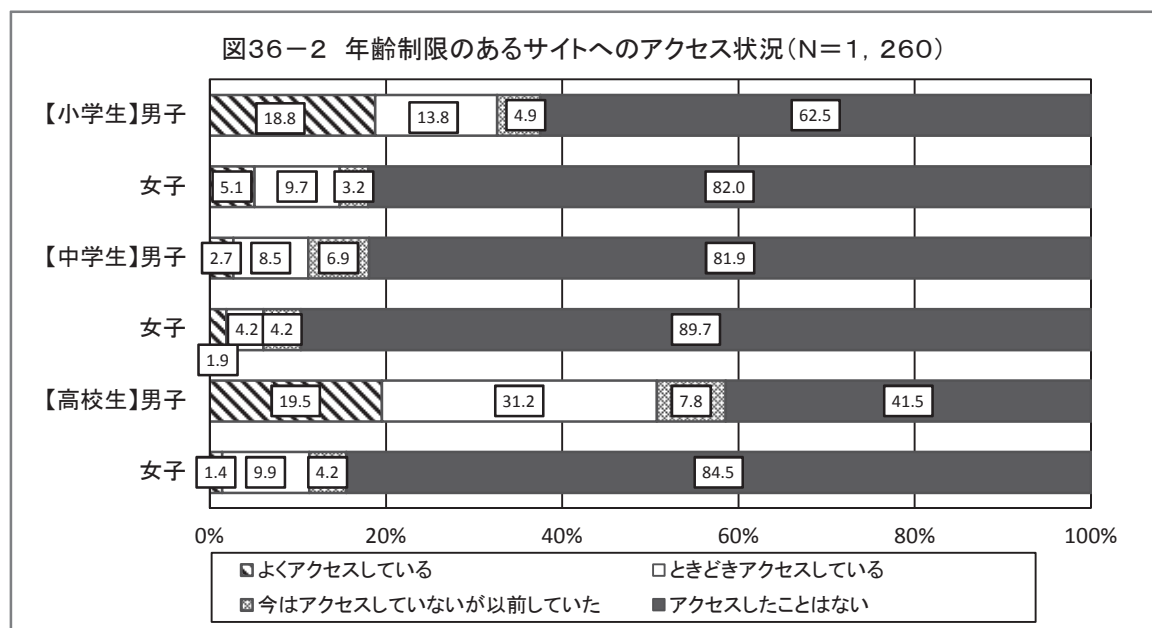
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が30.6%で最も高く、以下、小学生(23.8%)、中学生(8.4%)となっている。



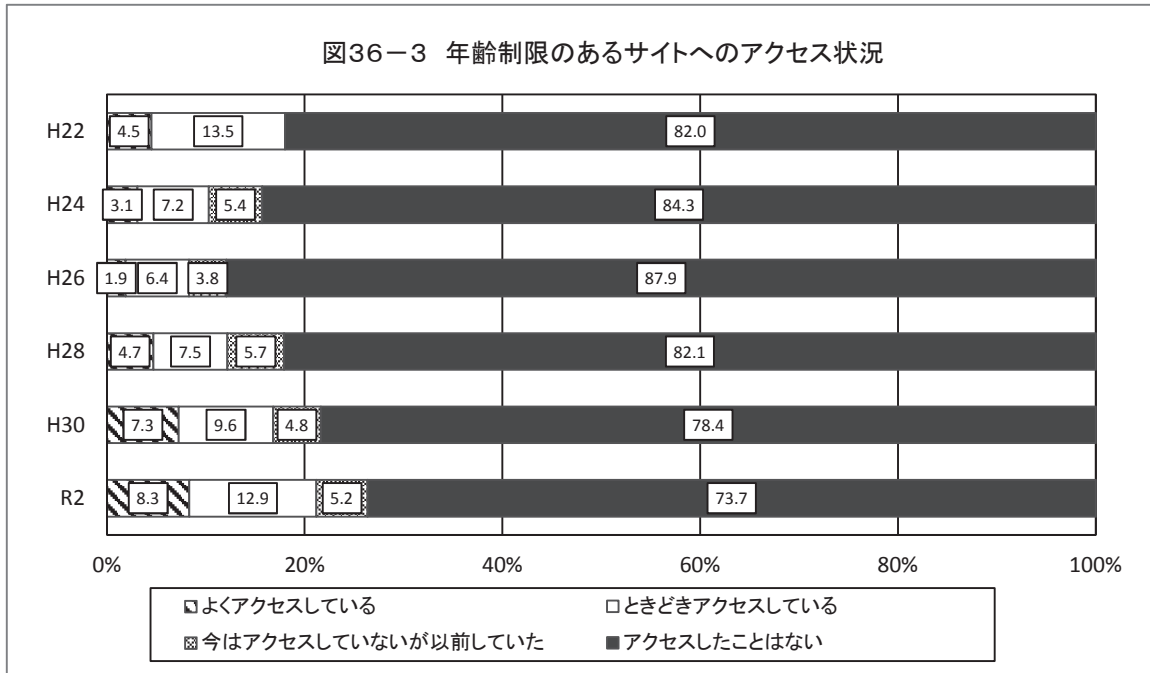
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校男子が50.7%で最も高い。以下、小学男子(32.6%)、小学女子(14.8%)となっている。



【経年変化】

『アクセスしたことがある』について、過去の調査と比較すると増加傾向にあり、令和2年度は平成30年度と比較すると4.3ポイント増加している。



< 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況 >

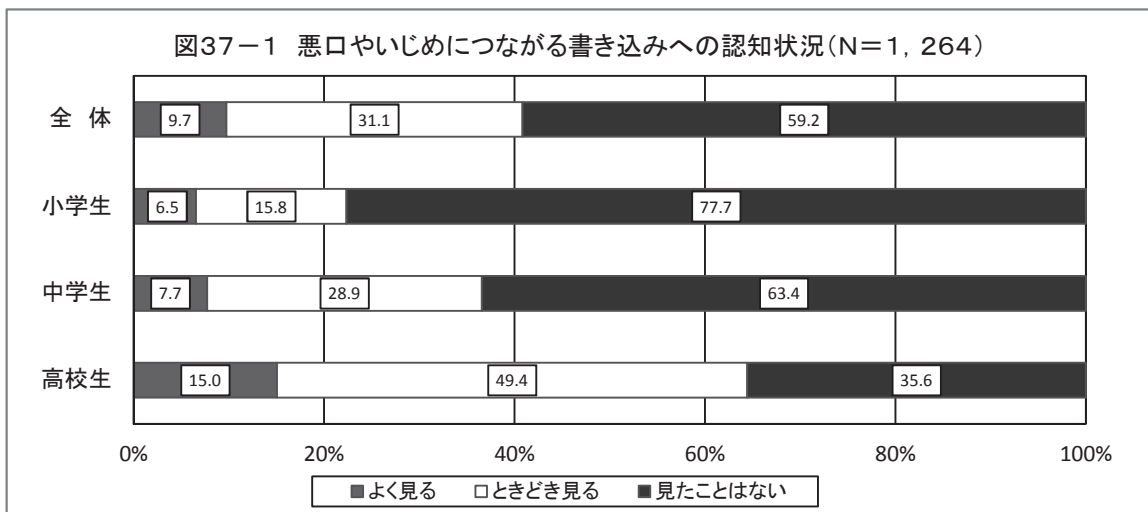
問18(2) あなたは、インターネットにつながる機器において、悪口や、いじめにつながる書き込みを見たことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで、悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、「見たことはない」が59.2%と最も高い。

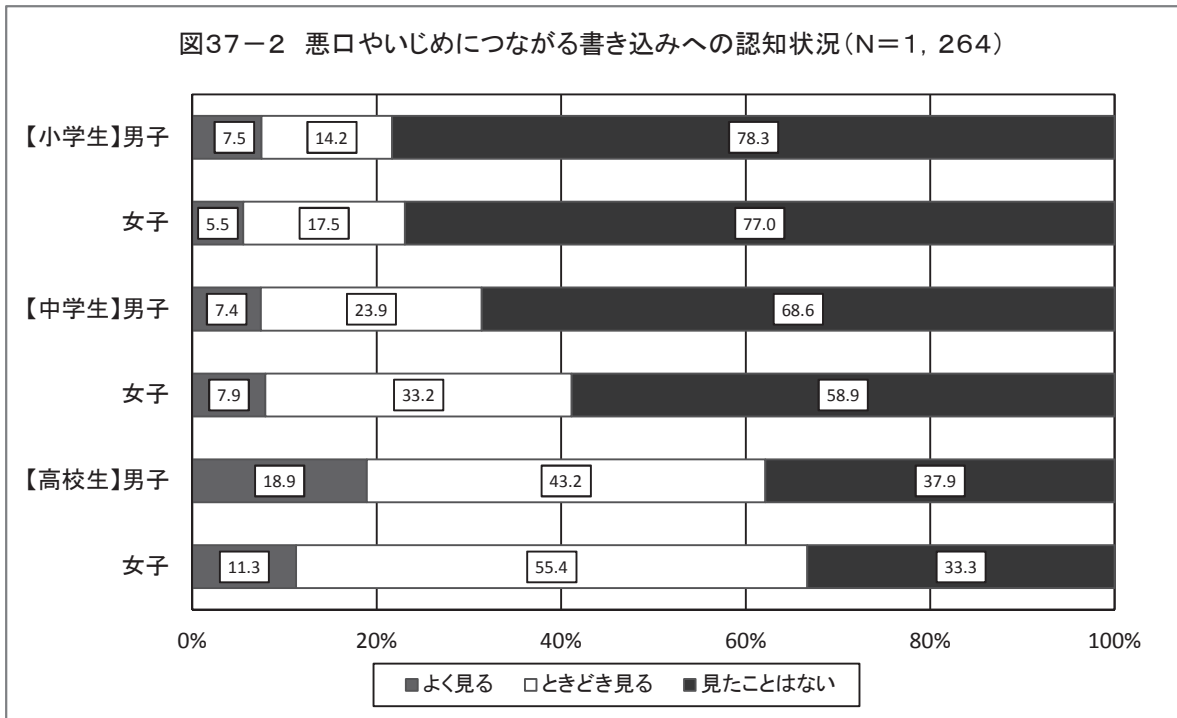
【学校種別集計結果】

「よく見る」、「ときどき見る」を合わせた『見たことがある』を見てみると、高校生が64.4%で最も高く、以下、中学生(36.6%)、小学生(22.3%)となっている。



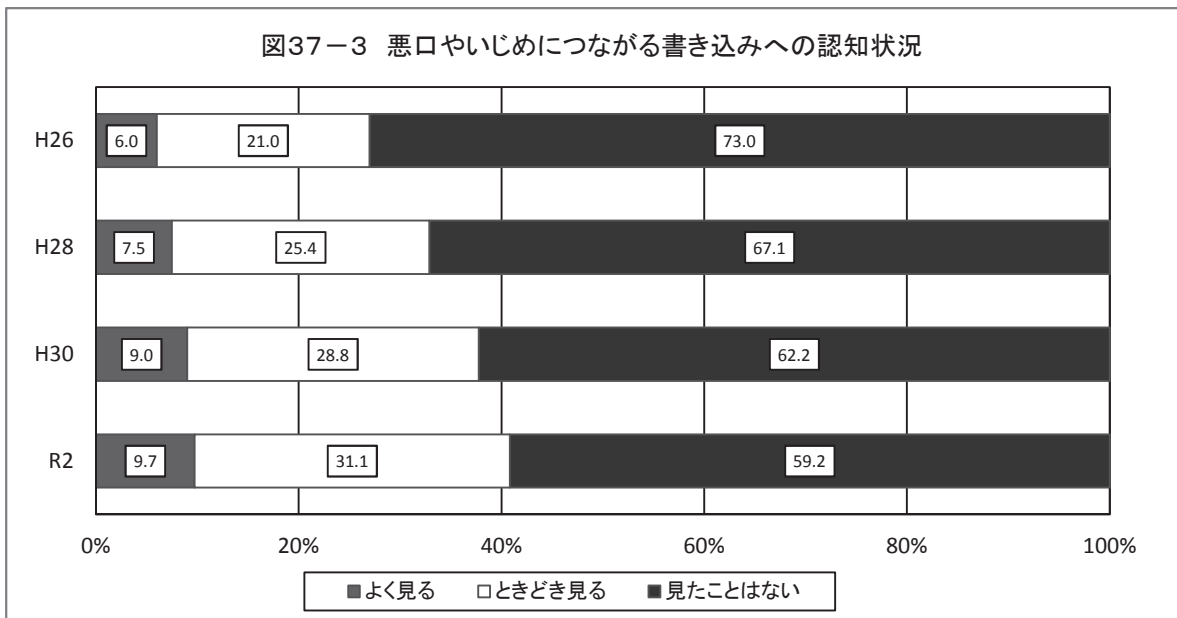
【属性別集計結果】

『見たことがある』を見てみると、高校女子が66.7%で最も高い。以下、高校男子が62.1%、中学女子が41.1%となっている。



【経年変化】

『見たことがある』について、過去の調査と比較すると増加傾向にあり、令和2年度は平成30年度と比較すると3.0ポイント増加している。



< 睡眠不足などの影響 >

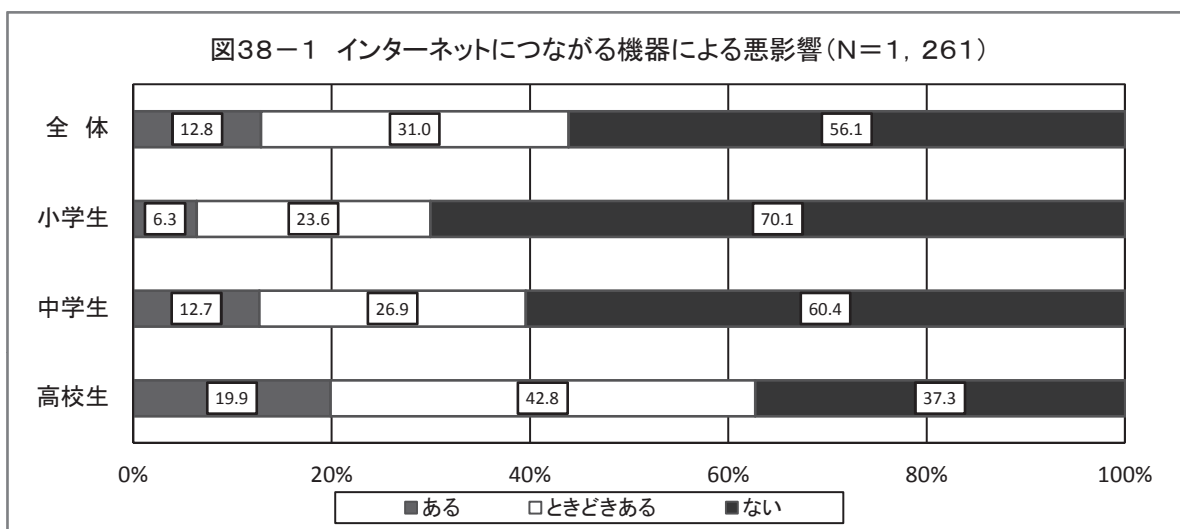
問18(3) あなたは、インターネットにつながる機器にのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで、勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがあるかどうか尋ねたところ、「ない」が56.1%と最も高い。

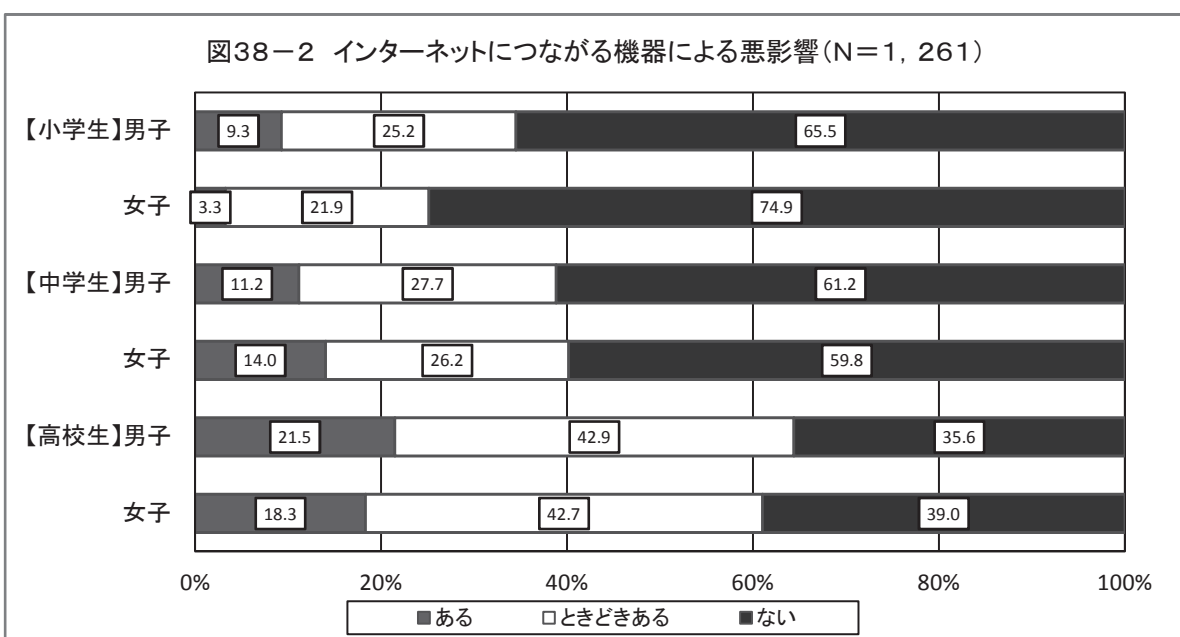
【学校種別集計結果】

「ある」について見てみると、高校生が19.9%と最も高い。「ある」と「ときどきある」を合わせると、高校生が62.7%で最も高く、以下、中学生(39.6%)、小学生(29.9%)となっている。



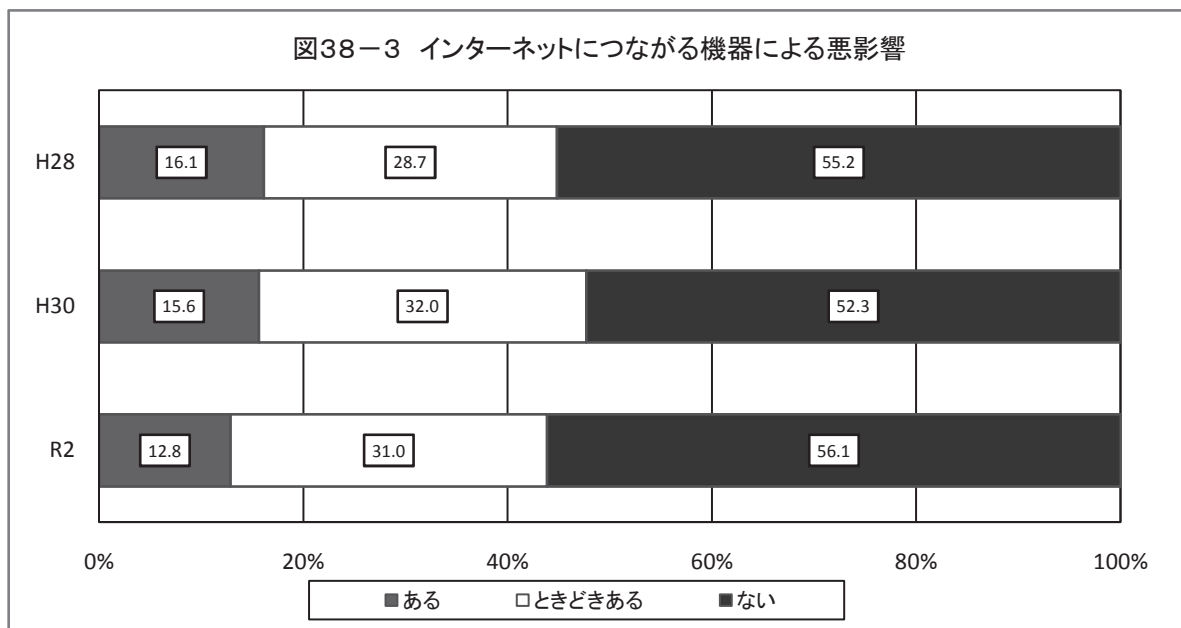
【属性別集計結果】

「ある」を見てみると、高校男子が21.5%と最も高く、以下、高校女子(18.3%)、中学女子(14.0%)となっている。また、小学生、高校生では男子が女子よりも高いが、中学生では女子のほうが男子よりも高い。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「ある」、「ときどきある」とも減少している。



<インターネットで知り合った人とのメール等のやりとり >

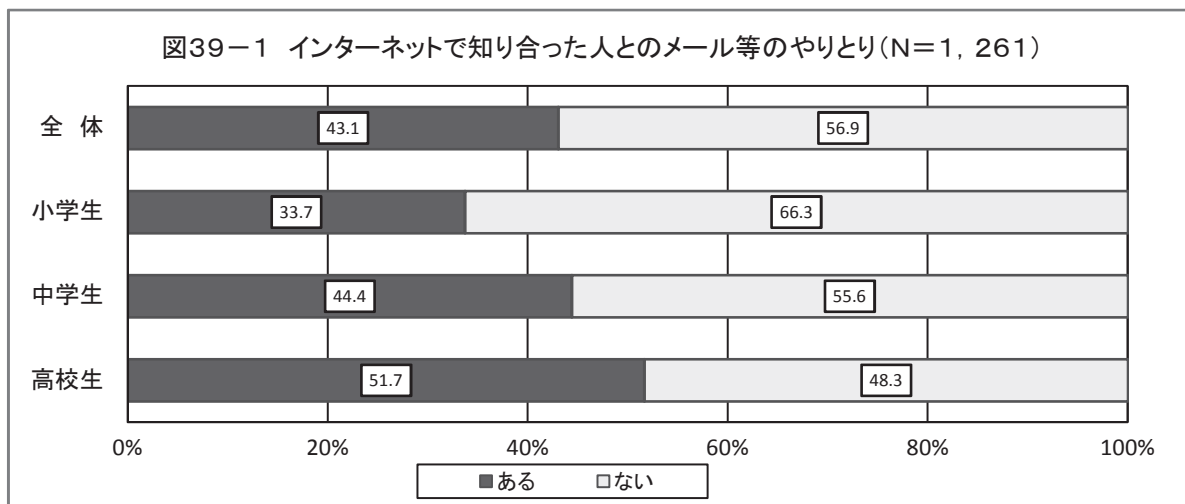
問18(4) あなたは、インターネットにつながる機器で知り合った人と電話やボイスチャットで会話したりメッセージやメールなどのやりとりをしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器で、知り合った人と会話、メールなどのやりとりをしたことがあるか尋ねたところ、「ない」が56.9%と最も高い。

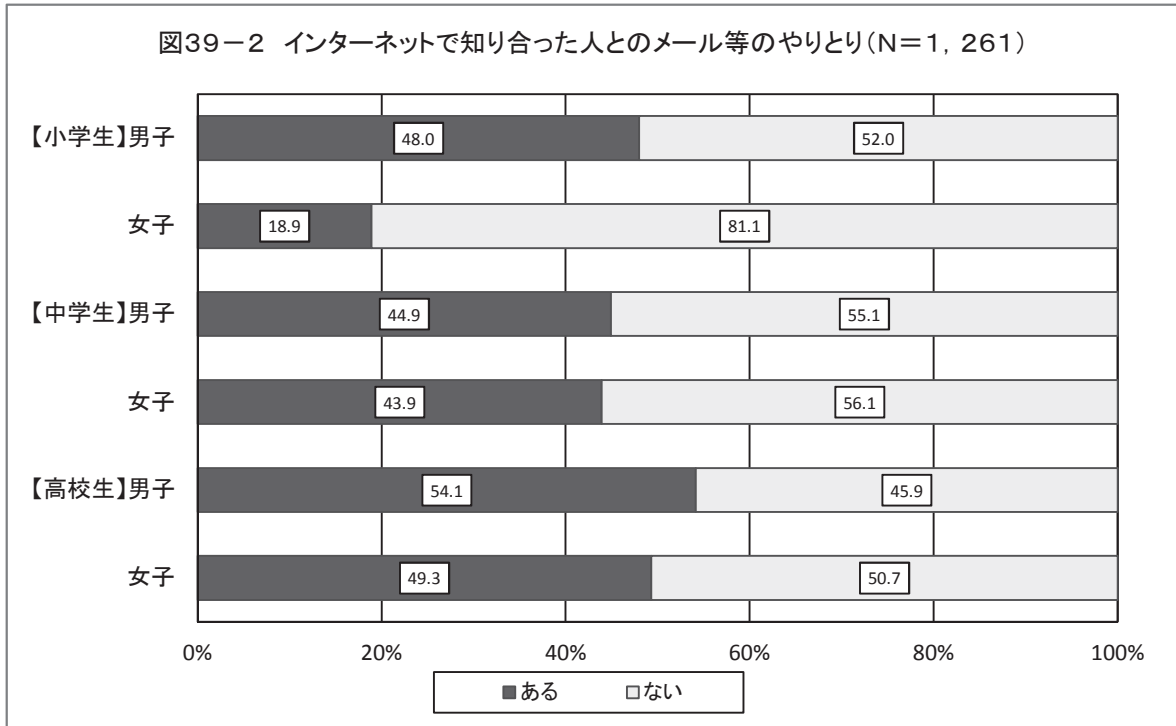
【学校種別集計結果】

「ある」を見てみると、高校生が51.7%で最も高く、以下、中学生(44.4%)、小学生(33.7%)となっている。



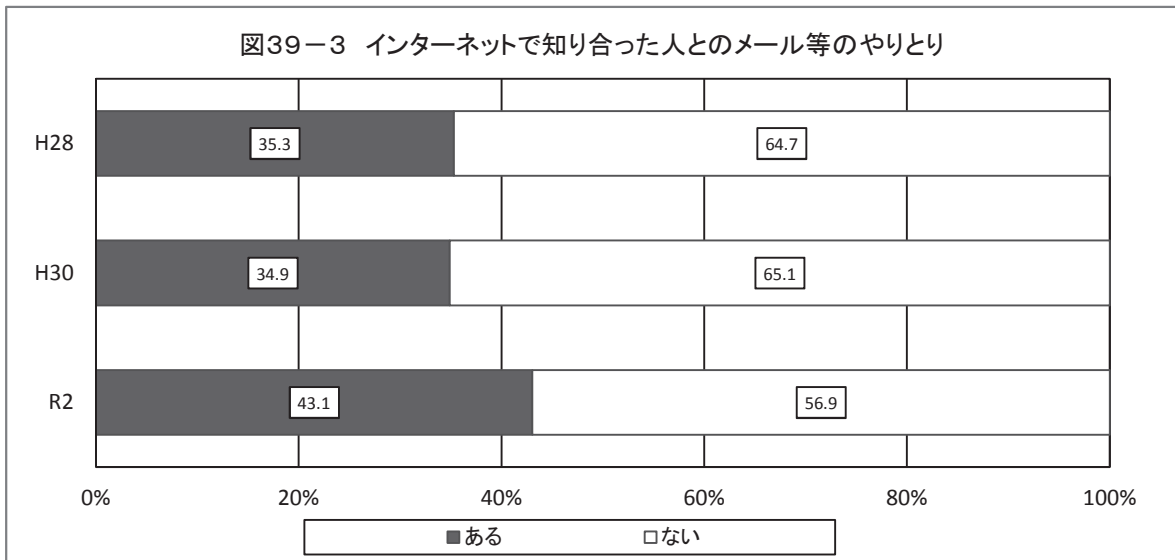
【属性別集計結果】

「ある」を見てみると、高校男子が54.1%で最も高い。以下、高校女子(49.3%)、小学男子(48.0%)となっている。



【経年変化】

「ある」については、平成30年度と比較すると、8.2ポイント増加している。



<インターネットで知り合った人と実際に会う >

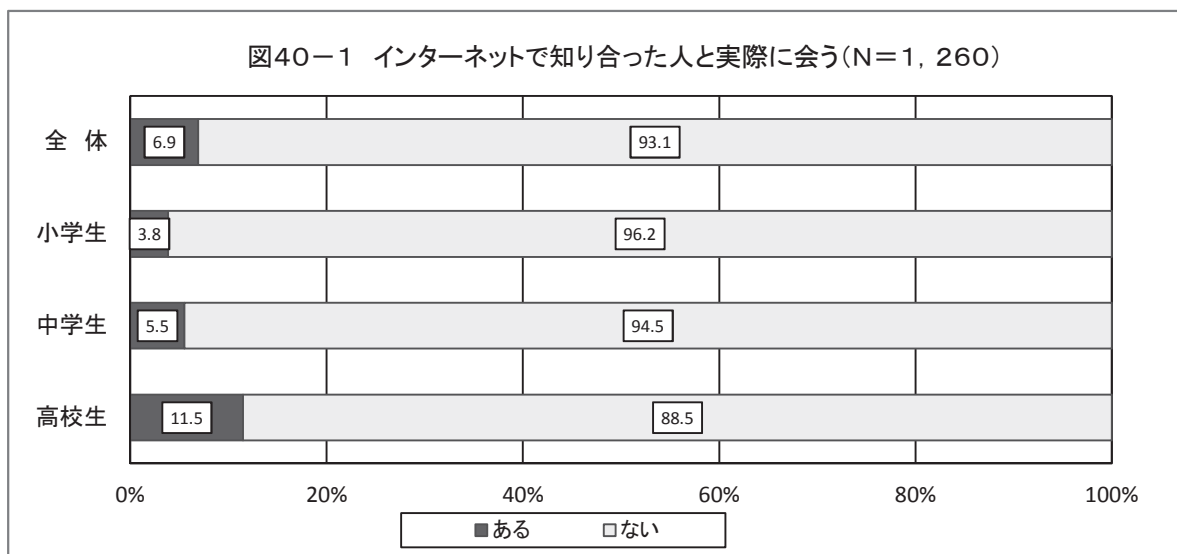
問18(5) あなたは、インターネットにつながる機器で知り合った人と実際に会ったことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器で、知り合った人と実際に会ったことがあるか尋ねたところ、「ない」が93.1%と最も高い。

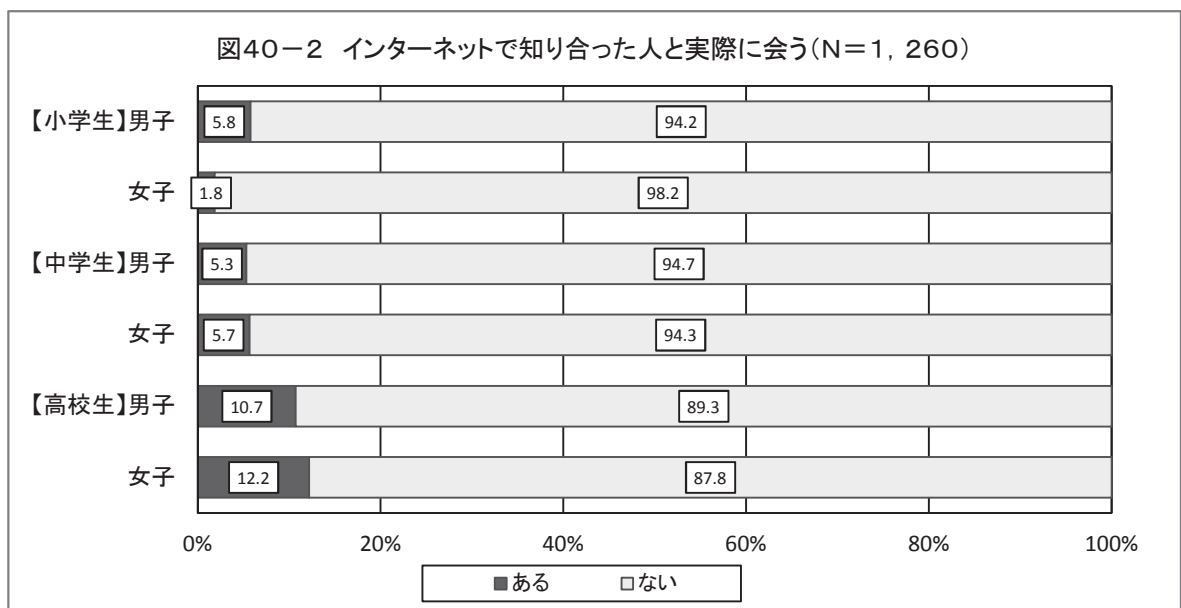
【学校種別集計結果】

「ある」を見てみると、高校生が11.5%で最も高く、以下、中学生(5.5%)、小学生(3.8%)となっている。



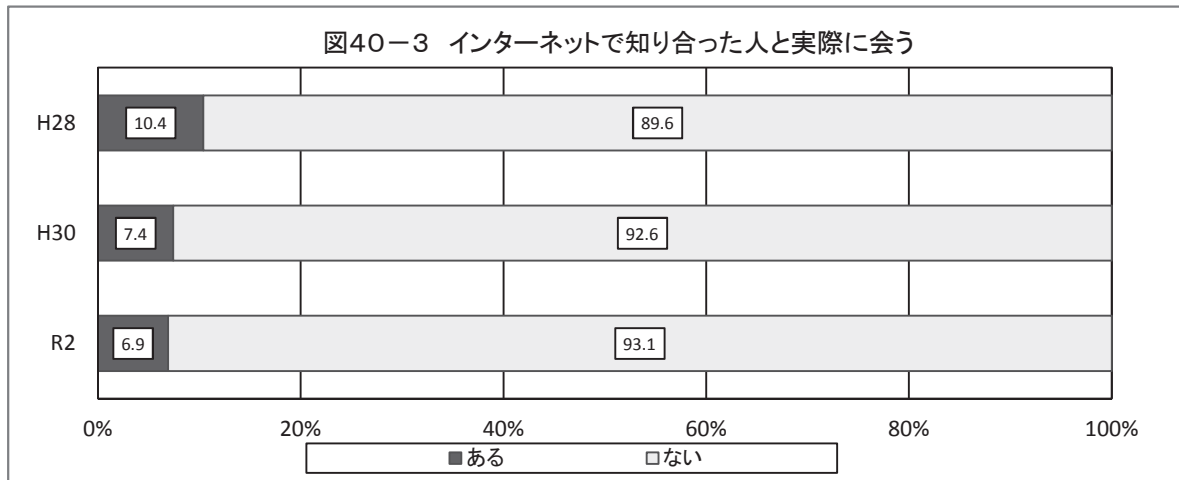
【属性別集計結果】

「ある」を見てみると、高校女子が12.2%で最も高い。以下、高校男子(10.7%)、小学男子(5.8%)となっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「ある」は減少傾向にある。



< インターネットで知り合った人への写真や個人情報送信 >

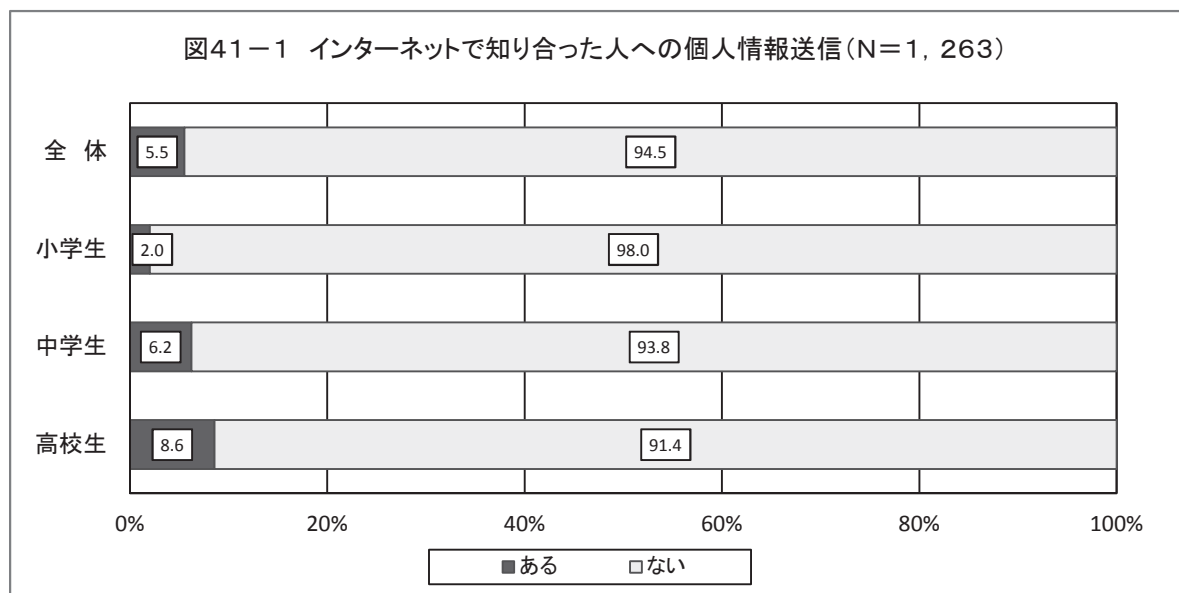
問18(6) あなたは、インターネットにつながる機器で知り合った人に頼まれて自分の写真や個人情報などを送信したことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

インターネットにつながる機器で、知り合った人に頼まれて自分の写真や個人情報などを送信したことがあるか尋ねたところ、「ない」が94.5%と最も高い。

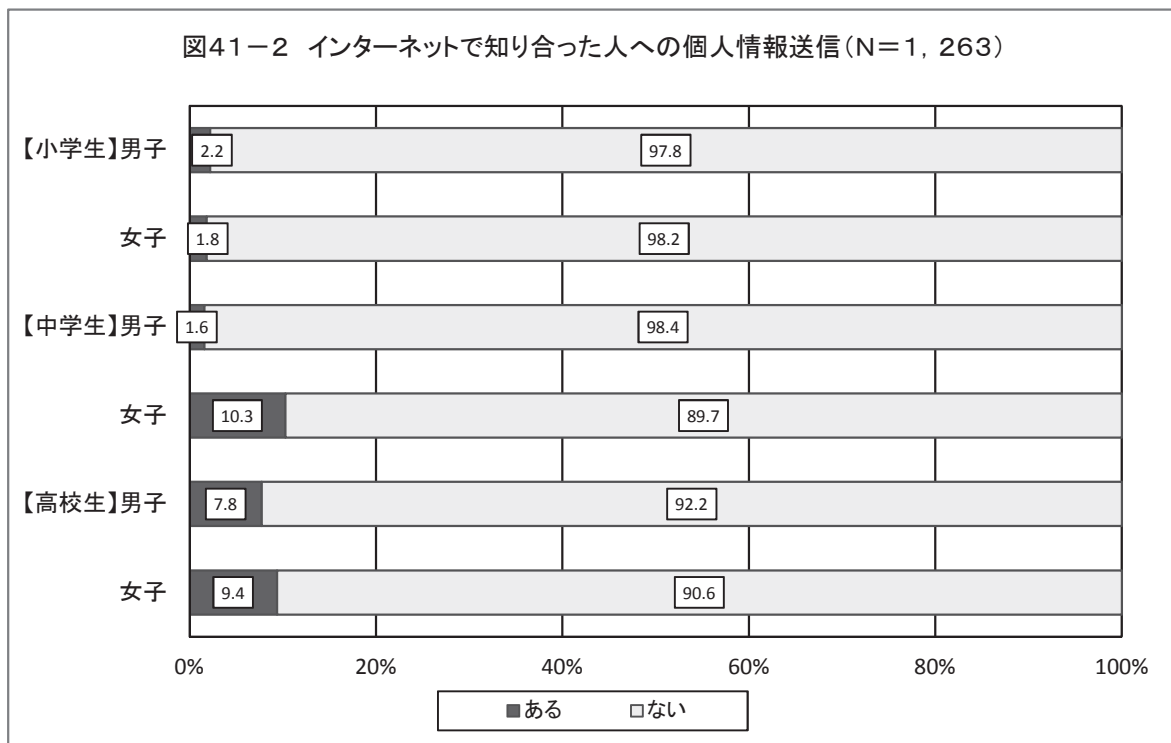
【学校種別集計結果】

「ある」を見てみると、高校生が8.6%で最も高く、以下、中学生(6.2%)、小学生(2.0%)となっている。



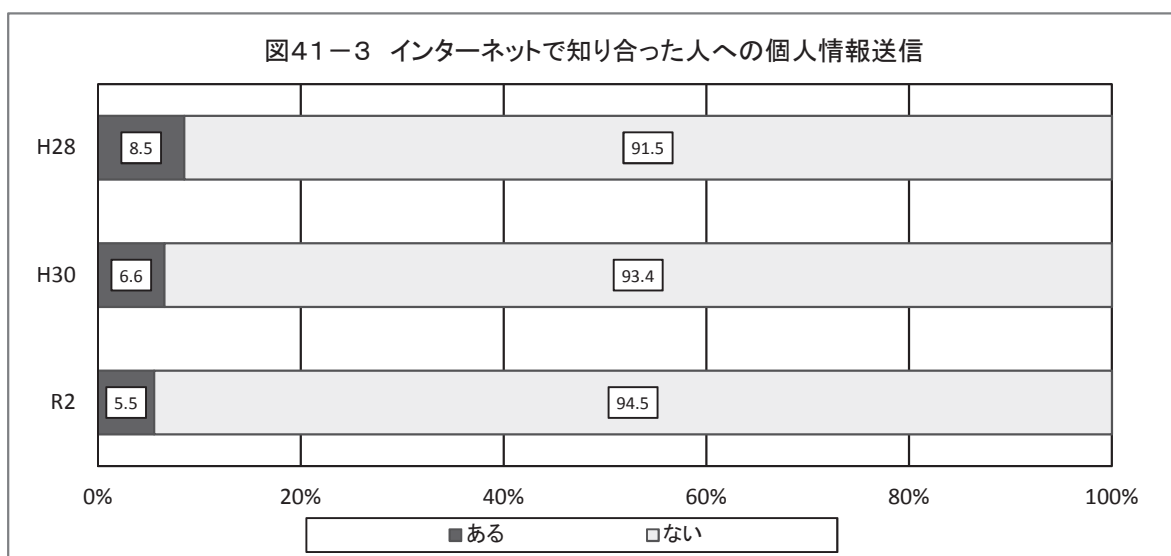
【属性別集計結果】

「ある」を見てみると、中学女子が10.3%で最も高い。以下、高校女子(9.4%)、高校男子(7.8%)となっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「ある」は減少傾向にある。



< 家庭での使い方ルール >

問18(7)	あなたの家では、インターネットにつながる機器の使い方について、何かルールがありますか。あてはまるものを、1～9の中から、いくつでも選んでください。ない場合は、10を選んでください。
--------	--

【全体集計結果】

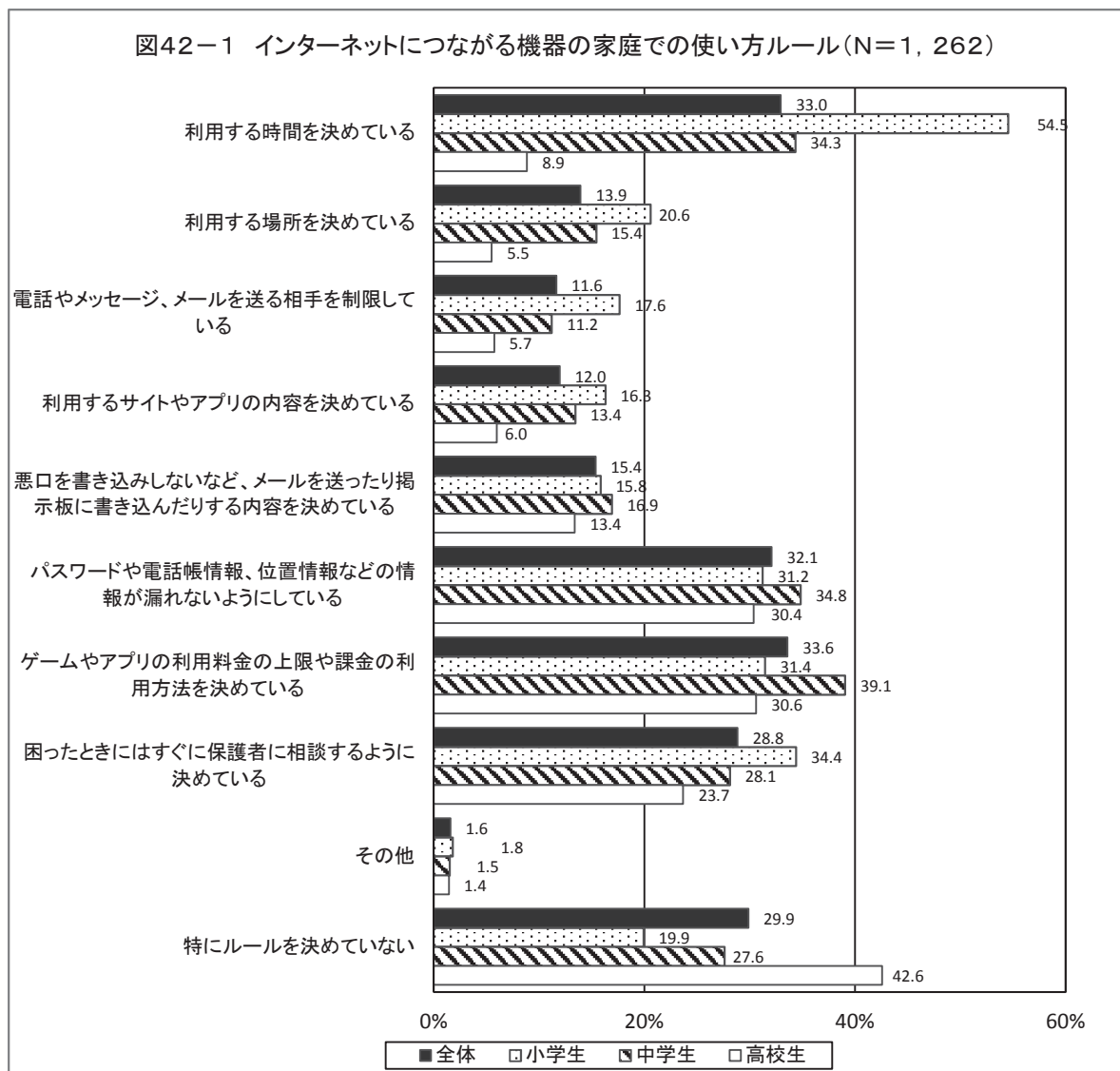
インターネットにつながる機器の使い方の家庭でのルールを尋ねたところ、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」が33.6%で最も高く、以下、「利用する時間を決めている」(33.0%)、「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(32.1%)となっている。

【学校種別集計結果】

小学生では「利用する時間を決めている」が54.5%で最も高く、以下、「困ったときはすぐ保護者に相談するように決めている」(34.4%)などとなっている。

中学生では「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」が39.1%で最も高く、以下、「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(34.8%)などとなっている。

高校生では、「特にルールを決めていない」が42.6%で最も高く、以下、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(30.6%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を2つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- ・「利用する時間を決めている」(56.4%)
- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(32.9%)

〈小学女子〉

- ・「利用する時間を決めている」(52.5%)
- ・「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(41.9%)

〈中学男子〉

- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(35.1%)
- ・「利用する時間を決めている」(34.6%)

〈中学女子〉

- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(42.5%)
- ・「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(38.8%)

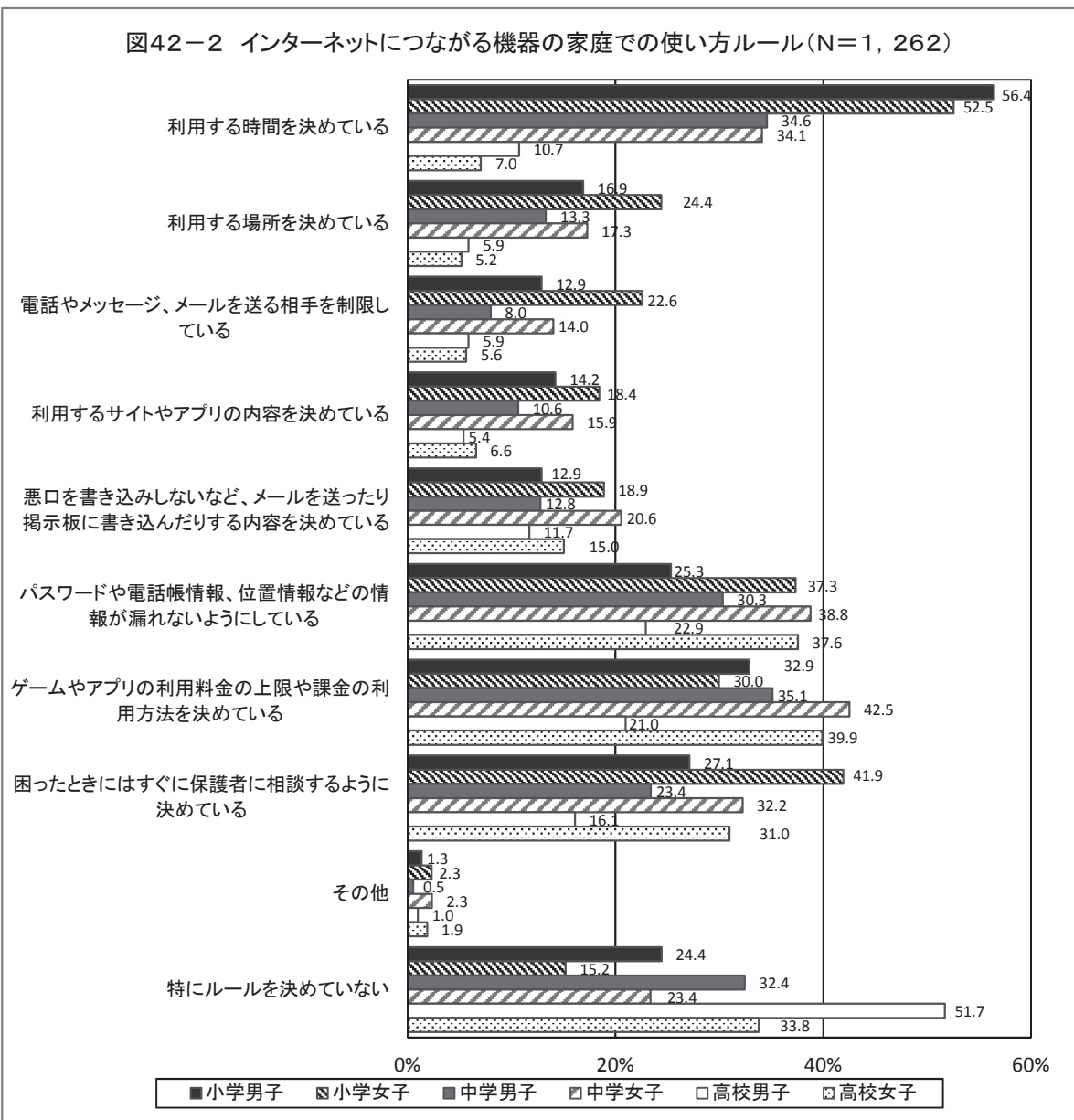
〈高校男子〉

- ・「特にルールを決めていない」(51.7%)
- ・「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(22.9%)

〈高校女子〉

- ・「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(39.9%)
- ・「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(37.6%)

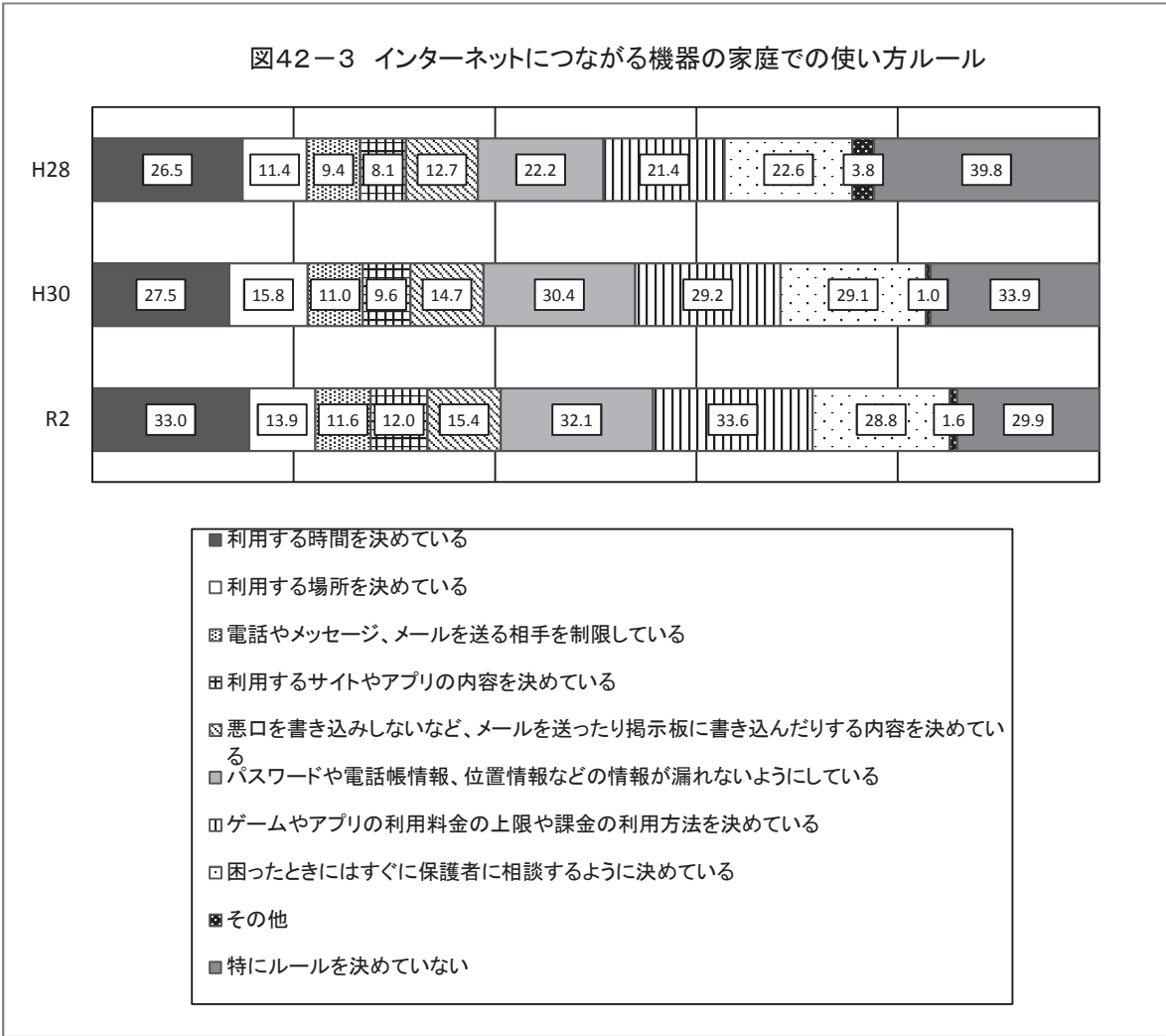
図42-2 インターネットにつながる機器の家庭での使い方ルール(N=1,262)



【経年変化】

「特にルールを決めていない」が減少傾向にある一方、「利用する時間を決めている」「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」が特に増加している。

図42-3 インターネットにつながる機器の家庭での使い方ルール



< インターネットの危険性の学習 >

問18(8)	あなたは、青少年にとって好ましくないサイトやネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまで説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。あてはまるものを、1～9の中から、いくつでも選んでください。ない場合は、10を選んでください。
--------	---

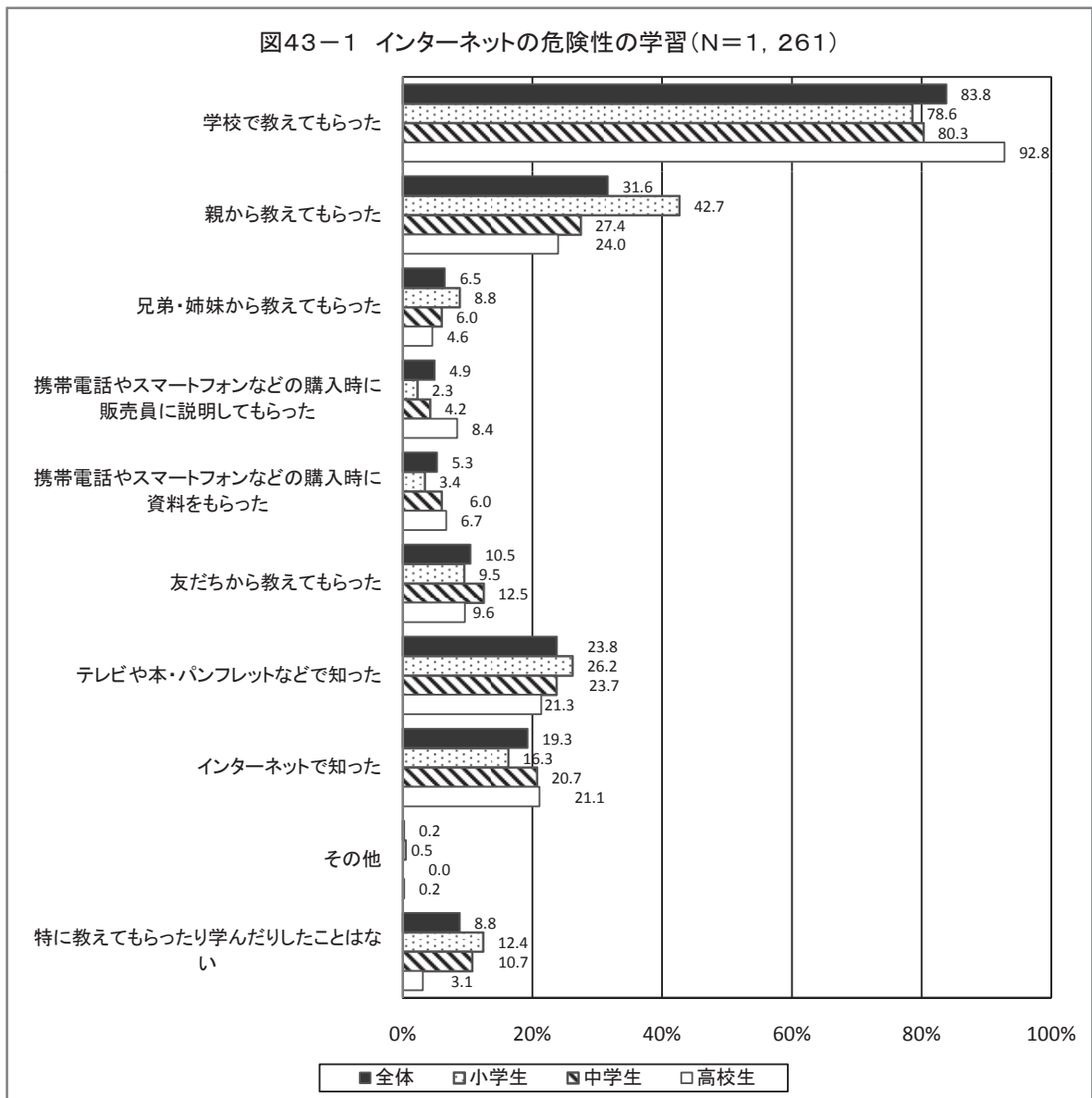
【全体集計結果】

インターネットの危険性について説明を受けたり、学んだりしたことがあるか尋ねたところ、「学校で教えてもらった」が83.8%で最も高く、以下、「親から教えてもらった」(31.6%)、「テレビや本・パンフレットなどで知った」(23.8%)となっている。

【学校種別集計結果】

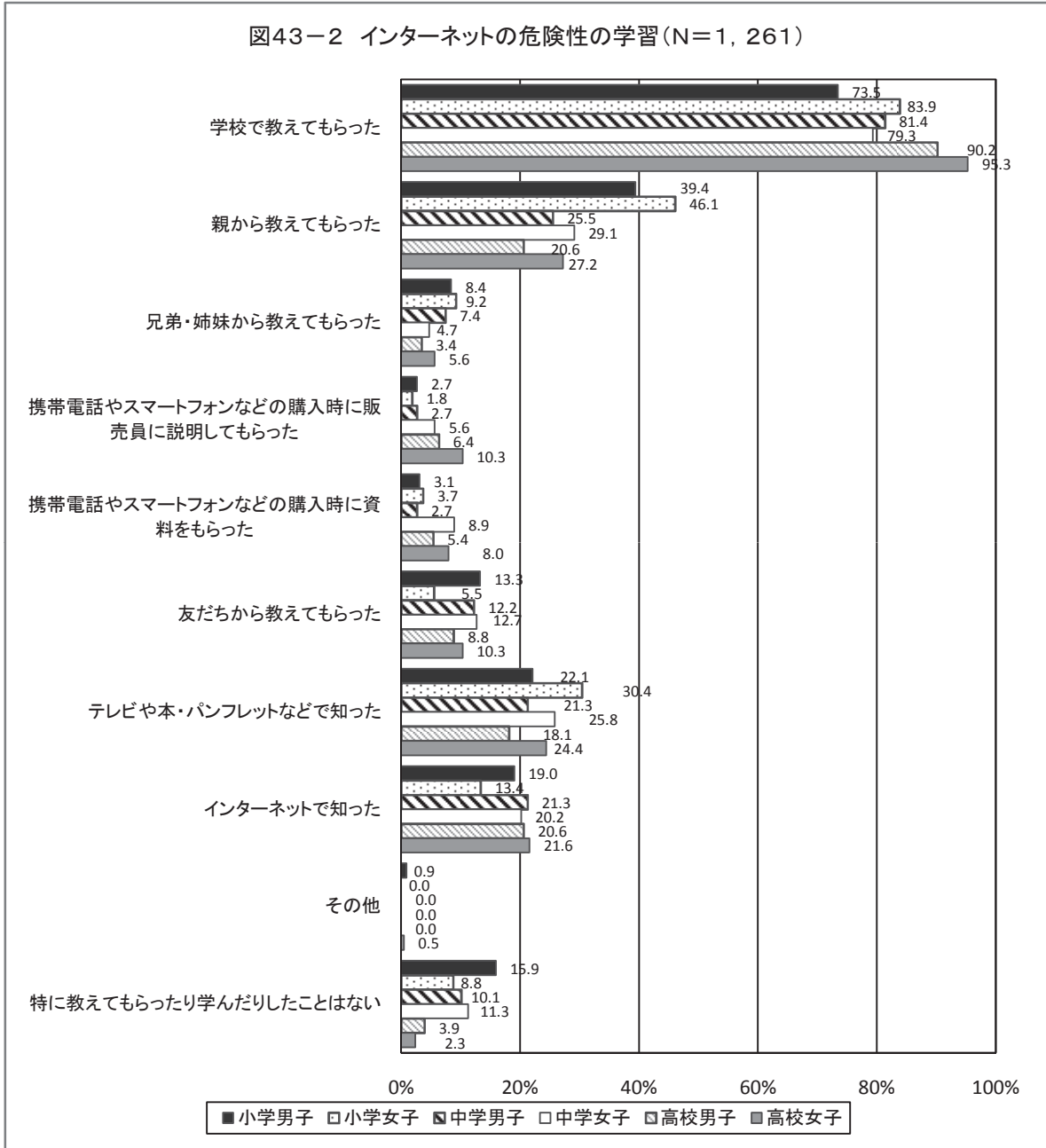
小学生、中学生及び高校生のいずれも「学校で教えてもらった」(小学生:78.6%、中学生:80.3%、高校生:92.8%)が最も高い。

以下、小学生、中学生、高校生のいずれも、「親から教えてもらった」(小学生:42.7%、中学生:27.4%、高校生:24.0%)などとなっている。



【属性別集計結果】

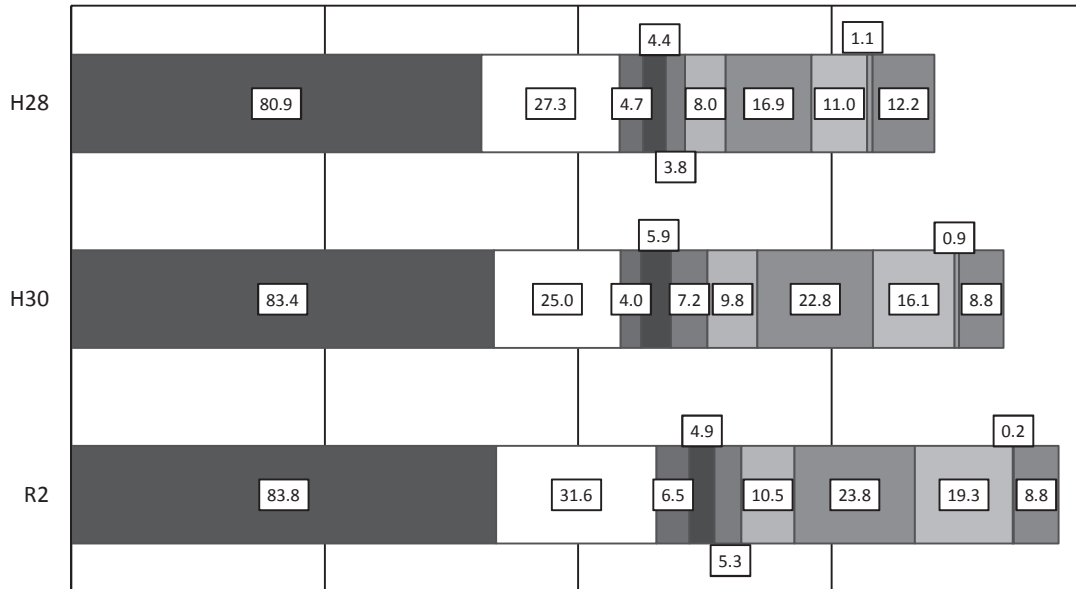
小学男女、中学男女、高校男女の全てにおいて、「学校で教えてもらった」が最も高く、以下についても、小学男女、中学男女、高校男女の全てにおいて、「親から教えてもらった」などとなっている。



【経年変化】

インターネットの危険性を学ぶ機会は増加しており、特に、「親から教えてもらった」は、平成30年度から6.6ポイント増加している。

図43-3 インターネットの危険性の学習



- 学校で教えてもらった
- 親から教えてもらった
- 兄弟・姉妹から教えてもらった
- 携帯電話やスマートフォンなどの購入時に販売員に説明してもらった
- 携帯電話やスマートフォンなどの購入時に資料をもらった
- 友だちから教えてもらった
- テレビや本・パンフレットなどで知った
- インターネットで知った
- その他
- 特に教えてもらったり学んだりしたことはない